

令和5年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

令和 5 年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1. 令和5年度総括報告（1年を振り返って）	1
2. 法人役員、評議員、運営協議会委員	5
3. 理事会開催状況	6
4. 評議員会開催状況	7
5. 運営協議会開催状況	7
6. 内部監査結果	7
7. 法人借入金償還状況	8
8. 職員人事異動状況	8
9. 職員配置状況	8
10. 施設利用者状況	9
11. 補助金による助成物件	10
＜総務部＞	
(1) 庶務・経理係	13
(2) 固定資産管理係	14
(3) 防災・防犯係	15
(4) DX 係	18
(5) 安全衛生委員会	18
(6) 地域福祉係	19
(7) 広報係・魁	20
＜人事部＞	
(1) 採用係	22
(2) 人材育成係	22
①外国人介護人材チーム	

②障害者雇用チーム

(3) 安全衛生委員会.....25

<その他の係>

(1) 支援向上委員会.....27
〔虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会〕

(2) 公益的取り組み28

1. 令和 5 年度総括報告（1 年を振り返って）

（1）運営全般

「自分を磨き続けていく」を年間スローガンとして掲げた。昨年度の「虐待事件」の改善を進めるために、「虐待」等に関する研修を各施設及び支援向上員会で実施した。

経営状況についても今年度も複数の事業者が利用定員を充足しておらず、厳しい経営状況であった。特に特別養護老人ホームカナンでは、亡くなる方も多く定員の 90 名に近づけることができなかった。

また、今年度もコロナ感染、ノロ感染などクラスターが発生してしまっただが、感染症 BCP に従って対応することができた。

（2）福祉ニーズへの対応の向上と利用者サービスの質と生活環境・利用環境等の向上を図る

①支援向上委員会を中心に、ここ数年の虐待・身体拘束等の大きな問題についての改善を徹底していく。

- ・外部講師を招いて、虐待研修を 2 回（一般職員・役職者）実施した。また、参加者だけではなく、動画を配信し各施設で参加できなかった職員も視聴した。

②人材育成係を中心とし、職員（外国人・高齢者・障害者別の研修も含む）の資質向上のための研修等を強化していく。

- ・役職者に対し、感情マネジメント力や人間力を高めるためのコミュニケーション研修を新たに企画した。
- ・その他は、研修のみの実施となってしまった。

③移り変わる制度や時代の流れに即した理解を促進し、求められるニーズを掘り起こし活用していく。

- ・実践できなかった。

（3）経営の安定を目指す

①各事業の利用者獲得を進めるために様々な手段を模索すると共に実践していく。

- ・入所施設では、待機者との連絡調整を実施。通所施設では、相談支援事業所、特別支援学校との連絡調整を実施した。さらに外部イベントへの参加を積極的に行ない取組状況等の PR を行なったが、特にカナンの定員充足については進まなかった。

②業務の効率化や経費の見直しを行ない、コスト削減を推し進めていく。

- ・音声入力やペーパーレスの検討を進めたが、課題も多く実施には至らなかった。
- ・入所、通所、相談の部門で打ち合わせを実施。通所関係では、各施設の強みや弱みを把握することで利用者獲得のための連携強化を図ったが成果までには至らな

かった。

③既存の施設・設備の維持及び向上、そして活用を推進していく。(中長期計画の完成も含む)

- ・中期計画を各係・各施設でたて、計画通りに進めることができたところもあったが、進まない所もあった。
- ・技能実習生、特定技能の受入を進めるために職員寮の整備を進めた。ポパイ、さつきの事業終了に伴い使用していた部屋をぶどうの木の相談室やグループホームの活用へ変更した。中長期計画の完成までには至らなかった。

(4) 組織力の強化

①収益事業係オリーブを中心とし資金獲得を進める。

- ・オリーブにて「福祉用具」の販売を行なったが、売り上げを伸ばすまでには至らなかった。

②事業所の役割、法人係等の役割を再確認し組織を再編成する。

- ・入所、通所、相談の部門で打ち合わせを実施。通所関係では、各施設の強みや弱みを把握することで利用者獲得のための連携強化を図り、入所施設では各部署の現状をまとめることで情報共有を行なった。通所施設と相談事業では組織単位での会議を実施した。法人係では行事担当で予算一覧表を作成して次年度の担当へ引き継いだ。報酬改定による処遇改善の環境要件を確認するために環境改善委員会を新たに設置した。

(5) 継続課題

①DX化の推進を押し進める(デジタル化)。

- ・具体的に進めることができなかった。
- ・グーグルの活用を広げてはいるが、操作性の違いから十分な活用までには至らなかった。また、音声入力についても性能や意識の課題があり定着できなかった。

②「予防」の取り組みを実践していく。

- ・2月に明保野地区の住民を対象に介護予防リーフレットを発行した。

③SDGs(エスディージーズ)の視点に立ち、地域共生社会のさらなる推進の取り組みを行なっていく。

- ・エコキャップ収集の取り組みを継続したがその他には、具体的に進めることができなかった。

(6) 各福祉サービスの推進

①「グレイスホーム」は、生活環境の改善として洗濯機・エアコンの買い替えを進めた。

また外出支援を再開し外部とふれ合う機会を増やした。利用者の重度化・高齢化に沿うように、訓練や体操の時間を変更し、身体を動かす機会を提供した。年度内で利用

者が満床となった。

- ②「あけぼのホーム」は、5月以降、家族の面会や利用者の外出を再開した。ボランティアの導入もすすめた。年末から年始にかけ、1階利用者と職員に新型コロナウイルス感染が拡大した。あけぼのホーム建て替えについて株式会社新環境設計との相談をすすめることとした。
- ③「めぐみの里」は、令和4年度の虐待事案に対して、令和5年4月に策定した「改善報告書」に沿って、改善に取り組んだ。その中でICT導入補助金でインカムを導入したり、ぐんま強度行動障害支援者総合事業に参画し、強度行動障害者へのアプローチ法などを学んだ。
- ④「カナン」は、年間24名の利用者を新規に受け入れたが退所される方も23名であった。入所後5日間は居室静養とし感染症の対策を行なった。また、短期利用では、空床も利用しながら平均利用率は90%を超えた。
- ⑤「マイーム」は、バルナバホームの老朽化に伴い、11月1日付で「さつき寮」1階（旧グループホームさつき）に移転した。移転に伴い、バルナバホームの定員を5名から6名に増員した。また、物価高騰により食費・光熱水費等の自己負担金を令和5年4月から値上げした。
- ⑥「ベテル」は、コロナ禍の影響を受け封筒の受注が減少する中で、新規取組として実施した施設外就労（松本楼ホテル客室清掃）やガーメントプリントの影響もあり平均工賃33,094円の結果となり、目標に掲げた工賃を達成することができた。また、利用率も感染症や入院者もいたが大幅な増減は見られなかった。
- ⑦「エステル」は、就労B型に3名の新規利用者が入ったが、精神的不安定やご家族の関係、本人のご逝去で4名が退所された。また、感染症や入院により利用率が低下。就労B型では、昆布作業が起動にのり、前年比150%増。平均工賃が18,233円となった。（新計算方式）生活介護では、ご家族の高齢化もあり入浴支援の対象者が増えた。
- ⑧「シャローム」は、売上は8,073,183円（前年度比107.9%）、月額平均工賃は25,642円（前年度比133.0%）となり、目標の25,000円を達成することができた。利用率は増加したが、職員増のため施設会計はマイナス3,090,778円であった。
- ⑨「ゆうかり」は、新規利用の方が定期的に入り、昨年度の利用率から徐々に増加はしているが、利用中の方の入所などで大きく伸ばすことはできなかった。1年間の利用率の平均は53%。
- ⑩「ぶどうの木」は、精神科病院に長期入院中の法人外利用者の地域移行を1件実施。昨年度から引き続き、法人外利用者の新規獲得、地域課題となっている児童の計画相談にも取り組み、順調に件数を増やすことができた。
- ⑪「シオンの丘」は、2名ともに主任介護支援専門員となり、より事業所運営の安定感を図ることができた。また、地域包括支援センターや他事業所との事例検討会にも参加し、地域課題の情報交換と共有に努めた。
- ⑫「オリーブ」は、売上が目標額よりも約2,880千円少なく達成率は90.4%であった。そのため法人への繰り入れ額は目標よりも150万円少ない100万円となった。
- ⑬福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（4回）を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

（7）施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ①「グレイスホーム」は、ガス乾燥機（205,700円）医務室エアコン（174,020円）ボイラー室修理（176,000円）女性トイレ大便器交換（132,000円）。

- ②「あけぼのホーム」は、エントランス屋根修繕工事（1,430,000 円）、パラマウントベッド一式（396,000 円）、パラマウント超低床ベッド（320,000 円）、電話設備更新工事（2,420,000 円）、車両購入 N-VAN（1,700,000 円、按分負担 710,000 円）。
- ③「めぐみの里」は、医務室天井工事（550,000 円）、インカム導入（2,203,801 円 内補助金 750,000 円）、ガス式立体炊飯器（561,000 円）、コピー機（1,210,000 円）。
- ④「カナン」は、厨房倉庫用物品棚一式（133,100 円）、ノートパソコン 1 台（150,700 円）、スプリンクラー凍害による修繕工事（2,970,000 円 保険 3,032,972 円）、若杉寮 103 号室改修工事、204 号室整備（773,849 円）、機械浴槽修理（290,950 円）、ラインポンプ交換工事（561,000 円）、ラウンジ北東系統空調機修理（473,000 円）。
- ⑤「ベテル」は、館内 Wi-Fi、パソコン購入（543,493 円、内 407,619 円が補助金）、ボイラーポンプ交換（412,500 円）、男性トイレ便器交換（162,800 円）。
- ⑥「エステル」は、パソコン（181,500 円）。
- ⑦「シャローム」は、Wi-Fi 工事（170,280 円）。
- ⑧「ぶどうの木」は、相談業務用の車両購入（1,800,000 円）。
- ⑨「オリーブ」は、冷蔵ケース（204,600 円）、リコープリンター（141,603 円）。

（８）借入金の償還

グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）、特別養護老人ホームカナン建設・増床部も含む（群馬銀行・北群馬信用金庫）、エステル建築（群馬銀行）の各借入金は、令和 5 年度分の償還を予定通り行なった。クロスホーム建設（群馬銀行）の借入金は令和 5 年度で完済した。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（令和5年4月1日現在）

役 職	定数	氏 名
理 事	7	山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、藤巻かおり、麻田紀之
監 事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	8	木村睦子、細井雅生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実 島田幸治、山崎友丈
運営協議会委員	5	川原武男、内海文雄、秋葉郁子、新保雄、吉田雄希

(2) 就任・退任役員

①就任役員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
理 事	茂串 英明	令和5年6月15日	

②退任役員

役職名	氏 名	退任年月日	備 考
理 事	麻田 紀之	令和5年6月15日	

(3) 就任運営協議会委員

①就任委員

役職名	氏 名	就任年月日	備 考
運営協議会委員	吉田 雄希	令和5年4月1日	
	小澤 征夫	令和5年7月4日	

②退任委員

役職名	氏 名	退任年月日	備 考
運営協議会委員	細井 広平	令和5年3月31日	
	新保 雄	令和5年7月3日	

3.理事会開催状況

開 催 日	審 議 内 容	審議結果
第263回 令和5年4月25日	第1号議案 めぐみの里勧告に対する対応について 第2号議案 めぐみの里虐待事件に対する処分について	可決 可決
第264回 令和5年5月26日	第1号議案 令和4年度 事業報告（案） 第2号議案 令和4年度 会計収支決算（案） 監事監査報告 第3号議案 社会福祉充実残高及び社会福祉充実計画について（案） 第4号議案 任期満了に伴う理事、監事の推薦（案） 第5号議案 理事長報酬（案） 第6号議案 マイーム物件購入見送り（案） 第7号議案 令和5年度 第1次収支補正予算書（案） ・マイーム 第8号議案 マイームさつき寮1階の活用（案） 第9号議案 シャローム事務所東の土地購入（案） 第10号議案 運営協議会委員の選任（案） 第11号議案 運営規程の一部変更（案） ・グレイスホーム・あけぼのホーム ・めぐみの里・ベテル・エステル ・ぶどうの木 第12号議案 第133回評議員会の開催（案）	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第265回 令和5年6月15日	第1号議案 理事長選任について（案） 第2号議案 理事長報酬について（案）	可決 可決
第266回 令和5年9月25日	第1号議案 定款の一部変更（案） 第2号議案 諸規定の一部変更（案） ・職員就業規則 ・職員給与規程 ・契約職員給与規程 第3号議案 運営規程の変更（案） ・マイーム・ぶどうの木 第4号議案 第134回評議員会の開催（案）	可決 可決 可決 可決
第267回 令和5年12月8日	第1号議案 諸規定の一部変更（案） ・職員給与規程 ・契約職給与規程 ・育児・介護休業等に関する規程	可決 可決
第268回 令和6年3月1日	第1号議案 理事長報酬（案） 第2号議案 めぐみの里宇田匡彦さんへの慰謝料（案） 第3号議案 令和6年度 修繕及び購入に伴う積立金取り崩し（案） 第4号議案 令和5年度 第2次収支補正予算書（案） 第5号議案 令和6年度 法人・施設管理責任者・施設長 会計責任者・出納係（案） 第6号議案 令和6年度 事業計画書（案） 第7号議案 令和6年度 収支予算書（案）	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

	第 8 号議案 諸規定の一部変更（案） ・役員報酬規程 ・短時間正職員就業規則 ・契約職員就業規則 ・旅費規程	可決
	第 9 号議案 令和 6 年度 介護職員初任者研修開催（案）	可決
	第 10 号議案 あけぼのホーム建て替えの設計監理業者との相談について（案）	可決
	第 11 号議案 第 135 回評議委員会の開催（案）	可決

4. 評議員会開催状況

開 催 日	審 議 内 容	審議結果
第 1 3 3 回 令和 5 年 6 月 15 日	第 1 号議案 令和 4 年度 会計収支決算（案） 監事監査報告	可決
	第 2 号議案 社会福祉充実残高及び社会福祉充実計画について（案）	可決
	第 3 号議案 任期満了に伴う理事、監事の推薦（案）	可決
	第 4 号議案 理事長報酬（案）	可決
	第 5 号議案 マイーム物件購入見送り（案）	可決
	第 6 号議案 令和 5 年度 第一次収支補正予算書（案） ・マイーム	可決
	第 7 号議案 マイームさつき寮 1 階の活用（案）	可決
	第 8 号議案 シャローム事務所東の土地購入（案）	可決
第 1 3 4 回 令和 5 年 10 月 16 日	第 1 号議案 定款の一部変更（案）	可決
第 1 3 5 回 令和 6 年 3 月 23 日	第 1 号議案 理事長報酬	可決
	第 2 号議案 めぐみの里宇田匡彦さんへの慰謝料（案）	可決
	第 3 号議案 第 2 次収支補正予算書（案）	可決
	第 4 号議案 令和 6 年度 事業計画書（案）	可決
	第 5 号議案 令和 6 年度 収支予算書（案）	可決

5. 運営協議会開催状況

開 催 日	内 容
令和 5 年 7 月 18 日	運営協議会の運営及び地域ニーズについて
令和 5 年 12 月 13 日	地域における公益的な取組について

6. 内部監査結果

令和 5 年 5 月 19 日（金）に当法人の監事による令和 4 年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7.法人借入金償還状況 ※元金のみ

(単位:千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備考
社会福祉・医療事業団	30,000	20,580	1,570	7,850	グレイスホーム 建物改修工事借入金
群馬銀行	45,000	42,525	2,475	0	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	600,000	100,020	20,004	479,976	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	66,720	16,680	416,600	
北群馬信用金庫	600,000	0	10,020	589,980	
群馬銀行	120,000	30,300	6,060	83,640	エステル 建設借入金
計	1,895,000	260,145	56,809	1,578,046	

8.職員人事異動状況 (令和5年度中) ※正職員のみ

	採用	退職
人数	12名	10名

9.職員配置状況 (令和6年3月31日現在)

	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	ベテル	エステル	シャローム	マイーム	ぶどうの木
正職員	9	23	25	4	7	2	1	2
契約職員	5	18	22	4	10	7	8	1
嘱託医等	(1)	3	1	(1)	(1)	(1)	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	44	48	8	17	9	9	3

	カナン	さつき	ゆうかり	ポパイ	シオンの丘	オリーブ	合計
正職員	26		4		2	0	105
契約職員	27		3		0	2	107
嘱託医等	2(1)		0		0	0	6
派遣職員	0		0		0	0	0
合計	55		7		2	2	218

※兼務職員は所属施設のみに計上しています。

※嘱託医の兼務は()で記載し合計には含めません。

10.施設利用者状況（定員及び現員及び利用率）（令和6年3月31日現在）

定員及び現員

定員及び現員														
	グレイス ホーム		あけぼの ホーム		めぐみの里		ベテル		エステル				シャローム	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	就労継続		生活介護			
									定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護	30	30	50	48	80	77								
入所支援	30	30	50	48	80	77								
入所														
通所							20	27	25	28	15	14	20	22
短期入所	1		3		空床									
日中一時					若干名		1		1					
計	31	30	53	48	80	77	20	27	26	29	15	14	20	22

年間利用率（％）

生活介護	92.0	89.9	89.4				
入所支援	94.1	89.9	90.8				
通所				110.1	94.1	91.8	88.2
短期入所	2.19	1.3					
日中一時							

	バルナバホーム		さくらホーム		ダビデホーム		クロスホーム		カナン		ゆうかり		合 計	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護													160	150
入所支援													160	150
入所	6	6	4	3	6	6	7	7	90	58			113	80
通所											20	30	100	121
短期入所									空床				4	
日中一時													2	
計	6	6	4	3	6	6	7	7	90	58	20	30	379	381

年間利用率（％）

入所	100	83.3	100	100	61.6		
通所						52.8	
短期入所					100.0		
日中一時							

	シオンの丘
人数	87

※生活介護と入所支援の利用重複者と、日中一時の定員と現員数は合計には加算していません。

※ゆうかりの現員数は、契約者数となり、合計には含まれません。

11.補助金による助成物件

(単位：円)

助成団体	補助対象施設	助成物件	総 額	助成金額
群馬県	グレイスホーム	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	360,000	360,000
群馬県	グレイスホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	330,000	330,000
東京都	あけぼのホーム	物価高騰対策支援金(上期)	1,115,100	1,115,100
東京都	あけぼのホーム	物価高騰対策支援金(下期)	1,115,100	1,115,100
群馬県	あけぼのホーム	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	60,000	60,000
群馬県	あけぼのホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	55,000	55,000
東京都	あけぼのホーム	コロナウイルスに係る障害福祉サービス継続支援補助金	508,000	508,000
群馬県	あけぼのホーム	ICT 導入モデル事業補助金	749,700	562,000
群馬県	めぐみの里	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	960,000	960,000
群馬県	めぐみの里	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	880,000	880,000
群馬県	めぐみの里	ICT 導入モデル事業補助金	2,203,801	750,000
渋川市社会福祉協議会	めぐみの里	歳末たすけあい募金配分金助成事業	20,228	20,000
群馬県	ベテル	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	170,000	170,000
群馬県	ベテル	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	60,000	60,000
渋川市社会福祉協議会	ベテル	歳末たすけあい募金配分金助成事業	89,054	20,000

群馬県	ベテル	ICT 導入モデル事業補助金	543,493	407,000
群馬県	エステル(就労B型)	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	170,000	170,000
群馬県	エステル(生活介護)	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	170,000	170,000
群馬県	エステル(就労B型)	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	75,000	75,000
群馬県	エステル(生活介護)	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	45,000	45,000
厚生労働省	エステル	コロナウイルスに係る障害福祉サービス継続支援補助金	60,000	60,000
群馬県	シャローム	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	170,000	170,000
群馬県	シャローム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	60,000	60,000
群馬県	ぶどう木	物価高騰対策に取り組む福祉施設支援給付金	17,000	17,000
群馬県	ぶどう木	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	42,000	42,000
群馬県	バルナバホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	66,000	66,000
群馬県	さくらホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	44,000	44,000
群馬県	ダビデホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	66,000	66,000
群馬県	クロスホーム	福祉施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	77,000	77,000
群馬県	カナン (入所)	物価高騰対策に取り組む介護施設支援給付金	1,080,000	1,080,000
群馬県	カナン (短期)	物価高騰対策に取り組む介護施設支援給付金	60,000	60,000

群馬県	ゆうかり	物価高騰対策に取り組む介護施設支援給付金	170,000	170,000
群馬県	カナン（入所）	介護施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	990,000	990,000
群馬県	カナン（短期）	介護施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	55,000	55,000
群馬県	ゆうかり	介護施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	60,000	60,000
群馬県	シオンの丘	物価高騰対策に取り組む介護施設支援給付金	17,000	17,000
群馬県	シオンの丘	介護施設等物価高騰対策支援給付金(追加)	42,000	42,000

<総務部>

(1) 庶務・経理係

①概要

勤怠管理システムの導入について検討したが、現状の給与計算方法と勤怠管理システムとの連動に問題があり導入は出来なかった。施設長との連携を強化して計画的な予算作成、予算執行を、今後も進めて行く。

②重点目標に対する取り組み

ア 新しい制度に備える

- ・インボイスについては、就労施設担当者を中心に取り組んだ。制度開始前に取引業者へインボイス番号通知などを行なう事が出来た。

イ 業務の ICT 化を推進するための仕組み作りの検討

- ・庶務内でグーグルチャットのグループを作成し、情報の共有化を行なった。また、連絡だけの用途ではなく、リアルタイムで入力出来るようにスプレッドシートなども活用した。

ウ 庶務経理系のスキルアップを検討

- ・ズーム等を利用した研修（オンライン研修）を行なった。

③見学者受け入れ状況

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	1	0	1	0	0	2	2	0	0	2	1	9
	人数	2	0	3	0	0	33	43	0	0	5	4	90
個人	日数	3	2	4	2	4	1	0	4	5	1	3	33
	人数	7	4	9	3	5	1	0	6	6	1	7	57
総 合計	日数	4	2	5	2	4	1	2	6	5	1	5	42
	人数	9	4	12	3	5	1	33	49	6	1	12	147

(令和4年度 22日、31人)

④実習生受け入れ状況

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
社会人・学生 (資格取得)	日数	0	22	0	12	20	74	45	9	0	18	26	249
	人数	0	2	0	4	4	10	3	7	0	4	7	48
生徒 (施設利用)	日数	0	10	1	2	16	7	0	1	0	10	0	47
	人数	0	2	1	8	8	2	0	1	0	2	0	24
総合計	日数	0	32	1	14	36	81	45	10	0	28	26	296
	人数	0	4	1	12	12	12	3	8	0	6	7	72

(令和4年度 249日、63人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者の安心・安全な生活を維持するために保守点検・環境整備・建物設備を計画して整備を実施した。整備中長期計画を更新し今後の計画を見直した。

②重点目標に対する取り組み

- ア 法人の建物設備を永く丁寧に使用するために管理、監督を行なう。
- ・各施設で予算を計画して整備や購入を概ね実施することができた。収入面で厳しい状況の施設は補助金や積立を活用して実施した。法人全体で計画した整備についてはネット環境整備、福祉図書室整備、正門改修工事を次年度以降に見送った。

③主に実施した施設整備

- ・医務室エアコン購入、洗濯場の整備（グレイスホーム）
 - ・ケアパレット購入、電話交換機交換工事、厨房電気温蔵庫購入（あけぼのホーム）
 - ・厨房整備、医務室天井修理、インカムの購入（めぐみの里）
 - ・暖房循環ポンプ交換工事（ベテル）
 - ・玄関前植栽整備（エステル）
 - ・館内の Wi-Fi 整備（シャローム）
 - ・ダビデホーム、クロスホームワックス掛け（マイーム）
 - ・車両購入（ぶどうの木）
 - ・厨房エアコン整備、ボイラー修理（カナン）
- ※教会屋外掲示板、法人全体の舗装工事は検討不足で実施できなかった。

月	日	実施内容	業者
4	7	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
	10	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
5	17	樹木消毒	身障施設で対応
	24	キュービクル電気系統一部品交換（めぐみの里）	関東電気保安協会
6	9	建築物防火設備点検調査（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里、カナン）	群馬特殊建築物定期調査・検査事業協同組合
	12	若杉寮 103 号室整備（～7/14）	岡本建具店
	15	浄化槽清掃（グレイスホーム、パルナバホーム、若杉寮）	渋川衛生社
7	12	建築物設備点検調査（あけぼのホーム、めぐみの里）	群馬特殊建築物定期調査・検査事業協同組合
	13	建築物設備点検調査（カナン）	群馬特殊建築物定期調査・検査事業協同組合
	15	身障施設水道管付近の樹木撤去	藤田エンジニアリング
8	3	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社

9	6	園内樹木伐採（～9/13）	勢多造園
	8	浄化槽清掃（クロスホーム）	渋川衛生社
	30	電線付近樹木伐採	関電工
10	16	浄化槽法 11 条検査（エステル）	県環境検査事業団
11	11	若杉寮 204 号室整備（～12/12）	岡本建具店
11	15	ボイラー缶体洗浄（あけぼのホーム、ベテル）	藤田テクノ
	17	浄化槽汚泥引抜（あけぼのホーム）	関東清掃社
	27	共通施設ワックス（教会、アンベアンス、めぐみホール）	六本木クリーンサービス
	29	浄化槽法 11 条検査②	渋川衛生社
12	7	若杉寮 204 号室ガス湯沸かし器設置	中島商店
	16	電話交換機交換工事（あけぼのホーム）	藤田ソリューション
	20	浄化槽汚泥引抜（グレイスホーム）	関東清掃社
2	16	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社
3	1	浄化槽法 11 条検査（あけぼのホーム）	渋川衛生社
	8	浄化槽清掃（ダビデホーム）	渋川衛生社
		浄化槽汚泥引抜（めぐみの里、カナン）	関東清掃社
	9	キュービクル停電検査（あけぼのホーム）	関東電気保安協会
	16	受水槽清掃（身障施設、めぐみの里、カナン）	日化メンテナンス

※浄化槽定期点検・定期清掃は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・県環境検査事業団）は、2 回に分けて実施。

①グレイスホーム、めぐみの里、カナン、シャローム

②教会、ベテル、旧ベテル会議室、さつき、クロスホーム、ダビデホーム、バルナバホーム、職員研修所、若杉寮、MGM、地域交流ホーム

※簡易専用水道定期検査は、身障施設（25 トン）めぐみの里（24 トン、6 トン）、カナン（35 トン）の 3 箇所を実施。

※身障施設・めぐみの里・カナンのキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

（３）防災・防犯係

①概要

10 月に群馬県社会福祉協議会主催の福祉避難所モデル訓練実施の要請を受け、渋川広域 4 施設と渋川市危機管理室とで連携をとって合同訓練を実施した。恵の園では、恵の園を利用している利用者にも参加していただき、実際にめぐみの里で福祉避難所を立ち上げる訓練を行なった。

また、コロナ禍で中止していた明保野地区防災委員会を 10 月に開催し、各施設の状況等を確認し、今後の継続的な動きについて確認を行なった。

②重点目標に対する取り組み

- ア 防災面：避難訓練実施施設以外の施設について、実際の火災を想定し、各施設の応援態勢について、検討、マニュアル化し、全体訓練として行なう。
- ・他施設が火災になった際の応援体制等の動きについて、平日と休日・夜間体制時の動きについて各施設で検討を行なった。検討結果を踏まえ、12月の全体訓練で実際の動きについて確認できた。しかし、施設ごとのマニュアル化は、できなかった。次年度にマニュアル化を図る。
- イ 防犯面：明保野地区防災委員会で防犯についての取り組みを共有化し、地域における防犯について検討する。
- ・令和2年以降、コロナ禍で中止していた明保野地区防災委員会が10月に開催された。そこで各施設、学校で取り組んでいる対応について共有化を図った。

③全体の取り組み事項

月	内 容
4	・緊急連絡網の更新 ・利用者状況表の更新
5	・消防設備定期点検、消火器点検（共和消防設備：8～11日）
8	・地下重油タンク気密漏洩検査：グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里（トキコシステムソリューションズ：2,3日） ・重油タンク目視点検（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里） ・スプリンクラー点検：グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里（正栄技研：25,26日）
9	・スプリンクラー点検：カナン（正栄技研：22日）
10	・明保野地区防災委員会（2日） ・福祉避難所モデル立上訓練（23日）
11	・消防設備点検、消火器点検（共和消防設備：15,17,20,21日） ・消防署立ち入り検査（本部：22日）
12	・消防署立ち入り検査（カナン：1日）
1	・危険物取扱者保安講習（9日：金澤）
2	・防火対象物点検（共和消防設備：1～2日） ・スプリンクラー点検（正栄技研：24,27日） ・消火器交換（正栄技研：2日）
3	・防火管理者更新講習（7日：櫻井）

④防災訓練実施結果および各施設の取り組み事項

	訓練内容	日程（※印は施設ごとの取り組み事項）
グレイスホーム	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	7月25日（消防署立会） 3月27日（消防書立会） 3月29日 ※正面玄関の解錠時間の変更

あけぼのホーム	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	5月30日（消防署立会）（全体訓練） 3月7日 2月20日 ※非常用倉庫の物品整理実施
めぐみの里	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間検証） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	12月21日（全体訓練） 6月21日（消防署立会） 8月30日 2月28日 ※令和4年度、夜間検証訓練が実施できなかったため次年度に実施。
マイーム ・バルナバホーム ・さくらホーム ・ダビデホーム ・クロスホーム	火災想定訓練（日中） （夜間） （地震） 火災想定訓練（日中） （夜間） （地震） 火災想定訓練（夜間） 火災想定訓練（夜間）	2月27日 6月23日 2月27日 2月9日（消防署立会） 7月19日（消防署立会） 2月9日 6月30日 7月13日 ※ダビデホーム、クロスホームはホーム内でコロナ感染者が出たため予定していた訓練が実施できなかった。
ベテル	火災想定訓練（1回目） 〃（2回目） 地震想定訓練	9月28日 3月18日（消防署立会） 3月4日
エステル	火災想定訓練（1回目） 〃（2回目） 地震想定訓練	6月26日（消防書立会） 3月11日（消防署立会） 2月10日 ※自施設の避難マニュアルを作成
シャローム	火災想定訓練（日中） 風水害想定訓練 地震想定訓練	
カナン	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間検証） 地震想定訓練	7月19日（消防署立会） 2月21日（消防署立会） 実施せず
ゆうかり	火災想定訓練（1回目） 地震想定訓練（2回目）	7月19日 3月8日
その他	4施設合同福祉避難所立上訓練	10月23日 ※渋川市からの要請で福祉避難所をめぐみの里に立ち上げる訓練を実施

※防火自主点検は偶数月に実施

(4) DX 係

①概要

法人のインターネット回線改修を進めていたが、予定していた予算よりも高額であり進めることができなかった。次年度に向けて、予算を削減するため回線使用について調査を進めた。グーグルの活用を拡大し、庶務経理のアカウントを作成した。また、ICT 補助金を使用して、3 施設がタブレット、インカム、Wi-Fi 環境等を整備した。

②重点目標に対する取り組み

ア ICT の導入により、生産性の向上を図る

- ・グーグルの活用と動画配信として、虐待防止研修を YouTube にて配信した。音声入力についても使用を継続したが、定着にはいたっていない。

イ 職員への意識改革を進める

- ・役職者以上については、グーグルの活用が定着してきており、データの共有等が進んできた。その他の意識改革については進める事ができていない。

③業務計画

DX 化として以下の業務を行ない展開していく

ア 法人内の ICT 関係の整理

携帯電話の機種変更や ND ソフトの使用状況を確認

イ 共有ツールの管理・更新

グーグルワークスペース、オクレンジャーの整理を実施

ウ 情報の発信・共有

グーグルチャット等を活用し情報共有を実施

(5) 交通安全係

①概要

運転適性検査を実施した。安全運転、事故防止のためポスターやチラシの掲示や配布をチーフチャットも利用した。朝礼等で交通安全週間や交通事故予防の呼びかけは例年通り実施した。

②重点目標に対する取り組み

ア 運転適性検査や交通安全講習を行ない、職員の交通安全意識を高める

- ・群馬県警に依頼し、安全運転適性検査を実施した。安全運転講習は JAF より講師を派遣してもらい実施した。

イ 日常の車両点検の実施方法を再確認し、車両トラブルを防止する

- ・夏用タイヤ、冬用タイヤの履き替えの呼びかけ実施。バッテリー上がり防止のためこまめなチェックを呼び掛けた。

③業務計画

- ア 飲酒運転根絶のため、アルコールチェッカーと酒気帯び記録簿を活用する
 - ・飲酒運転根絶のためルール化して記録簿として保管をしている。運転前にアルコールチェッカーという一連の流れが定着した。
- イ 運転適性検査と交通安全講習を実施する
 - ・運転適性検査 1回 交通安全講習 1回 実施。
- ウ 洗車、工具類の点検を定期的実施する
 - ・点検簿を使い、車両担当者を中心に実施した。
- エ ホイールローダ講習の受講を計画的に進める
 - ・今年度は受講をする適任者がいなかったため、受講者なし。次年度も状況を確認しながら、受講を計画する。

(6) 地域福祉係

①概要

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、徐々にではあったが様々な地域活動が再開された年となった。

10月には、ふれあいボウリング大会へ参加した。11月には、友近890のミニライブの受け入れを行なった。また、11月と1月に榛名女子学園の奉仕活動の受け入れを行なった。

重点目標に掲げた「地域にある社会資源と連携した取り組みを実施する」については、渋川市社会福祉協議会が窓口となり実施する「制服リユース事業」へ参加協力し、職員2名から制服の寄贈があった。その他、子どもの居場所づくり等の検討を行なったが、実施するまでに至らなかった。重点目標の二つ目である「地域福祉係の取り組みを積極的に発信する」については、ホームページの更新を促す程度の取り組みしかできなかった。

②重点目標

- ア 地域にある社会資源と連携した取り組みを実施する
 - ・令和3年から開始したフードパントリーについて、継続して協力を行なった。一年間で計126品を無償で提供した。
 - ・渋川市社会福祉協議会が窓口となり実施する「制服リユース事業」について、7/5に制服を2着届けた。
- イ 地域福祉係の取り組みを積極的に発信する
 - ・7月の定例会議に広報係の責任者である茂串施設長に参加していただき、広報係の取り組み、ホームページの更新状況、SNSの活用等について説明していただいた。

③地域との交流について

- ・昨年に引き続き、明保野山車祭りは中止となった。

- ・地域サービスウィークとして、6月と11月に利用者と共に明保野地区の環境美化活動を実施した。

④講師等の派遣について

- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師の依頼があり、職員15名が講師を担当した。新たに2名の職員が講師を担当した。

⑤その他

- ・高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」観戦、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待は辞退した。
- ・豊秋赤十字奉仕団（旧豊秋婦人会）より、花の苗をいただき、各施設へ配布した。
- ・高柳歌謡教室発表会は開催されなかった。
- ・11月23日、恵の園をささえる会12名のボランティア活動の受け入れを行なった。

（7）広報係・魁

①概要

一粒の麦を6月（春、）10月（夏号）に発行。9月に発行できる状態であったが、後援会との連携不足により寄付者ご芳名の作成が遅れ発行できなかった。新年号については、原稿が集まらずに年度内に発行できなかった。法人ホームページのリニューアルについて、素材（写真）の収集と人材獲得に向けた校正を検討した。

②重点目標

ア 広報機能の強化

- ・マニュアルを活用し、広報誌の発行を進める。また、発送についての検討を行なった。
- ・印刷班との連携等、発行までの手順については定着しつつある。しかし、寄付者ご芳名の作成に時間がかかり発行が遅れてしまった。
- ・ホームページリニューアルについて検討を進めながら、他の係（地域福祉係、DX係）と連携し法人内の情報発信を行なう。
ホームページ、SNSについては、定期的に更新することができた。また、求人関係について発信したが、他の係と連携しての更新をすることができなかった。

③事業内容

ア 法人パンフレットの改訂および管理

- ・印刷業者の関係で更新をすることができなかった。

イ 施設 PR パンフレットの改訂および管理

- ・法人玄関の補充を定期的実施。現在、同じ書式を使用せずに施設ごとに作成中。
- ウ 「施設紹介ムービー」の更新・管理と活用
 - ・大きな変更はなし。
- エ 「恵の園からのメッセージ」ムービーの更新・管理と活用
 - ・研修や見学者来園時に使用した。
- オ 「ヒストリームービー」の作成・管理と活用
 - ・上申中。
- カ 施設紹介パネルの更新および管理
 - ・所定の場所に掲示。一部追加、修正中。
- キ ホームページの更新および管理
 - ・各施設の行事、求人情報等を随時更新した。また、フェイスブック、インスタグラムの更新も同時に実施した。
- ク 恵の園ニュース「一粒の麦」の作成および配布と管理
 - ・後援会との連携ができず発行が遅れてしまった。(寄付やご芳名の作成に時間を要した)
 - ・春号：6月25日発行
 - ・夏号：10月23日発行
- ケ 職場啓発ポスターの掲示および管理
 - ・2ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

< 人事部 >

(1) 採用係

①概要

慢性的に夜勤のできる職員不足が続き、今年度も夜勤職員の確保を中心に採用活動を行なった。コロナ禍の収束に伴い、各団体の就職説明会が再開したため積極的に参加した。学校の説明会では学生不足もあり、採用確保には繋がらなかった。今後も人材確保に向けた取り組み（特に夜勤のできる職員確保）は継続していく必要がある。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材の確保と定着

- ・今年度 28 名と面談を実施し、12 名の採用につながった（正職 5 名、契約職 7 名）。
- ・ハローワークの求人票を見直した。ハローワークの企業説明&ミニ面接会は 2 回行なった。また、ハローワークからの紹介で、3 名の採用につながった。
- ・職員の紹介から 5 名の採用につながった。（6 月にリファラル採用のチラシを配布）
- ・4 名の学生アルバイトを受け入れ、1 名が新卒採用につながった。
- ・採用試験の一部見直しをした。（専門職の「一次試験免除」することとした）
- ・契約職から正職員への登用する際の「評価基準シート」を作成し、3 名の契約職を正職員に登用した。
- ・新たに 2 名のカンボジア特定技能外国人を採用した。（3 月 31 日時点で合計 8 名）
- ・「県いきいき G カンパニー認証制度」の認定マークを取得した。
- ・「県多文化共創カンパニー認証制度」の申請をしたが、否採択だった。
- ・以下の就職説明会へ参加をしたが、今年度は採用に繋がらなかった。

説明会	日程・会場
県介護就職説明会	8 月 19 日（JA ビル）
上毛新聞社主催介護と福祉のおしごと就職相談会	9 月 23 日（ビエント高崎）
高崎福祉医療カレッジ学生説明会	9 月 26 日（高崎福祉医療カレッジ）
北毛地区別福祉の仕事フェア 2023	10 月 19 日（渋川市民会館）
ハローワーク企業説明会&ミニ面接会	11 月 8 日、3 月 6 日（ハローワーク）
群馬医療福祉大学就職説明会（対象：1 年生）	3 月 7 日（群馬医療福祉大学）

(2) 人材育成係

①概要

新たに「障害者雇用チーム」と「外国人介護人材チーム」を設け、本人達に寄り添っ

た育成・定着に力を入れた。

また、令和4年7月の「めぐみの里虐待事件」を踏まえ、感情マネジメント力や人間力を高める研修を企画した。(理事長研修、外部講師による役職研修など)

②重点目標に対する取り組み

ア 「職員研修」を再構築する

- 感情マネジメント力や人間力を高める研修だけでなく、「人事労務の勉強会」「感染症の実技指導」などを新たに企画した。(山田名誉会長による研修の回数を見直した)

イ 新たに「障害者雇用チーム」と「外国人介護人材チーム」を設け、育成・定着に力を入れる

- 新たに「外国人介護人材」の担当者を設け、LINEを活用した生活相談などを行った。また、毎月開催される「外国人材拡大プレイス」のセミナーに参加し、他法人の好事例などを取り入れるようにした。他施設の職員や利用者・家族にも知っていただくため、季刊誌・魁を有効活用し、恵の園で働く外国人たちの紹介ページを設けた。
- 新たに「障害者雇用」の担当者を設け、担当者が各施設を訪問した際に声を掛けることから始めた。また、担当者が「障害者職業生活相談員研修」を受講し、障害者雇用の現状と課題、障害別特性と雇用上の配慮、職場適応と定着などについて学んだ。

③実施研修

ア 法人内研修

- 理事長研修(講師：山田理事長)

月	日	内 容
4	15	大切にしてほしいこと(対象：役職者)
5	15,17	

- 管理職研修会(講師：山田後援会長)

月	日	内 容
7	14	管理者として立つ
3	22	(感染症流行のため中止)

- 指導職研修会(講師：山田後援会長)

月	日	内 容
6	16	明日を創造する
11	20	やる気の「気」について学ぶ

- 一般職研修会(講師：山田後援会長)

月	日	内 容
5	19	「コロナ」禍後の不安定な時代こそ「自助」が必要
10	13	感謝すること

・ 新任指導職研修(対象者：1名)

月	日	内 容	講 師
5	8	新任チーフに伝えたいこと	山田理事長
		Do-CAP 面談について	近藤施設長

・ 全体研修会、テーマ別研修会

月	日	内 容	講 師
4	11	虐待防止研修（管理職向け）	社会福祉士 財津進介氏 ※支援向上委員会が企画
4	25	〃 （指導職、一般職向け） ※全職員がビデオ視聴	
7	3	心肺蘇生法（AED 使用）	渋川消防署
11	1	感染症対策（講義） 「秋から冬にかけて流行する感染症」 ～恵の園で行なえる予防と対策～	産業医 井口千春医師
11	6	感染症対策（実技） 「感染症対応強化のための社会福祉施設 訪問研修」	県衛生環境研究所 小林美保氏
11	7	人事労務の勉強会 (対象：事務員、管理者)	高齢者雇用アドバイザー 金井雄吾氏

・ 現任研修会

各施設にて年間 11 回実施

4 月には全施設で虐待防止に関連する研修を実施

・ 役職研修会

月	日	内 容	講 師
10	18,20 (1 回目)	コミュニケーション研修 「交流分析を用いたコミュニケー ションスキルアップ」	人材育成 煌 皆川さゆり氏
11	22,24 (2 回目)		

・ 中堅職員研修、リーダーズアカデミー：企画せず

・ 令和 5 年度 新任職員研修

月	日	内 容	講 師
4	3～6	新任職員研修	山田理事長、各施設長他
	14	恵の園の原点を仕事にいかす	山田名誉会長
7	3	フォローアップ研修①	人材育成係
3	11	フォローアップ研修②	人材育成係

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会、経営青年会、強度行動障害、ぐんま DWAT、外国人介護人材の受け入れに関する研修などに参加。
- ・コーチング（コーチ・エイの DCD）：実施せず

ウ 見学研修

- ・ 社会福祉法人善光会（介護ロボット、ICT 機器等）、一般社団法人モバイル建築さかい研究開発センターへの見学研修（県経営青年会主催：茂串）

エ 自己啓発の推進

- ・ 「職務免除制度」を見直し、改めて職員への周知を図った。（結果、介護福祉士受験者が微増した）

オ 専門医等による研修

- ・ 新たに県衛生環境研究所職員による感染症対策（実技）を実施した。（県パイロット事業を活用。次年度以降も継続する）

カ 赤城教育セミナー開催準備

- ・ 検討できていない。

キ リンクアンドモチベーション

- ・ 2回のサーベイを実施した。（第6、7回）
- ・ サーベイ結果をもとに各施設でアクションプランを作成し、管理者を中心とした組織単位の振り返りを実施している。
- ・ 先方とは定期的にオンラインによる打ち合わせを実施し、助言を受けている。

（3）安全衛生委員会

①概要

安全で快適な職場づくりに取り組んだが、10件の労災事故が発生した（昨年度4件）。

②重点目標に対する取り組み

ア 「感染症予防」を定着させるため、注意喚起のポスターを再度作成した。安全衛生委員会の会議で各施設の感染状況や対応方法を確認した。

イ 「安全・安心の労働環境」を構築するため、全国健康保険組合群馬県支部に「生き生き健康事業所宣言」として登録した。恵の園独自の取り組みとして「ヨガ教室」を定期的に開催した。また、「メンタルヘルスケア体制」「職員のコロナ感染時の対応」（いずれも内規）を整備した。

③年間報告

月	日	内 容
7	5,7	深夜業従事者の健康診断（三愛クリニック）
10	17～24	ストレスチェック（マインメンタルヘルス研究所）
	24	ヨガ教室（初めての試み）

11	1	井口産業医による全体研修「感染症予防について」（講義）
11	6	県衛生環境研究所による感染症の訪問研修（実技指導）
1	25	35歳未満職員（週30時間以上）の健康診断（三愛クリニック） ※今年度の受診は1日のみ。
2	14	ヨガ教室（2回目）

④労働災害

発生日	施設	内 容
6月16日	エステル	作業時、ハンドグラインダーの刃で右手指を裂傷（右手第3指裂傷）
6月29日	めぐみの里	利用者に後ろから右肩を引っ張られた。（右肩捻挫）
8月4日	めぐみの里	移乗介助時、左膝を痛めた（左膝挫傷）
8月28日	エステル	介助中に利用者の肘が胸に当たった（肋骨ヒビ）
8月31日	めぐみの里	走り出した利用者の上着に職員の手指が引っ掛かり捻挫。（右手第1指捻挫）
9月19日	エステル	排泄介助時、利用者と便座に手指が挟まれ負傷（右手第1指の骨折）
9月28日	あけぼのホーム	見守り時、突然利用者が職員の左脇腹を蹴った（左脇腹の骨折）
12月21日	カナン	利用者の酸素のコードに引っ掛かり転倒（右手首の骨折）
1月4日	めぐみの里	介助時、職員の手指が利用者の身体に引っ掛かった（左手第1指突き指）
2月5日	オリーブ	降雪時、車両への乗車時に転倒（左腓骨骨折）

<その他の係>

(1) 支援向上委員会

〔虐待防止委員会・身体拘束等廃止委員会〕

①概要

前年度の「虐待事件」に対して、研修等を計画し全施設で取り組みように対応した。その他にも虐待に至る原因を探るために支援向上委員会独自で検討しテーマを決め対応について検討することができた。しかし、作成まで実際に研修を実施することはできなかった。

②重点目標

○支援向上（虐待防止・身体拘束共通）

ア 「支援向上指針（仮称）」を完成し、職員に周知徹底させる

- ・「恵の園 支援向上指針」が完成した。

イ 職員の資質向上を図る

- ・基礎研修の実施を計画したが、3つの研修の作成はできたが、実施までには至らなかった。
- ・虐待関連の研修は、外部講師を招いて、一般職員と役職とにわけ実施した。その内容を撮影し、各施設で参加できなかった職員に対して視聴してもらった。しかし、全職員が視聴するまでには至らなかった。
- ・身体拘束関連の研修は各施設では、各施設で現任研修会を実施していたが、支援向上委員会では単独では実施しできなかった。
- ・各施設の取り組み内容の発表の場を設け、共有化を図っていくこととしていたが、これは実践できなかった。

ウ 第三者評価受審を計画的に進めていく。

- ・一施設で申し込みを行なっているが、評価機関の都合で令和5年度中には実施していない。

○虐待防止

ア 各施設で虐待防止の取り組み内容をあげ、1年間実践していく

- ・「セルフチェックリスト」で出された課題に取り組んだ。

イ 「セルフチェックリスト」を年2回実施し課題を改善していく

- ・予定通り2回実施できた。

○身体拘束

ア 身体拘束「ゼロ」を更に推し進めるためのシステム作りを行なう

- ・取り組めなかった。
- ・2ヵ月に一回は、各施設の身体拘束状況を確認した。
- ・支援向上委員会委員が、身体拘束を実施施設に見学に出向き、状況の確認等を行なった。

- イ 身体拘束「ゼロ」に向けて、実践施設の見学を行なう
 - ・実施できなかった。

③業務計画

- ア 4月の虐待防止月間において、各施設での1年の取り組みを確認した。
- イ 半年に1回「仕事の基本セルフチェックリスト」の実施及び改善を各施設で取り組んだ。
- ウ 外部研修は1回実施した。
- エ 第三者委員来園時に状況報告とアドバイス等をいただいた。

④年間予定

月		内 容	研 修
4	虐待防止月間	・セルフチェックリスト実施	虐待研修実施
11		・セルフチェックリスト実施改善内容実施	
12		・身体拘束まとめ	

(2) 公益的取り組み

①概要

明保野地区の住民の方を対象に介護予防リーフレットを発行した。また法人のホームページを利用し、公益的な取り組みの実施状況等について発信した。

②重点目標

- ア 地域とのつながりを図り、地域ニーズの把握を強化。さらに居住支援など新たな取り組みについても検討を進める
 - ・居住支援等についての情報収集を行なったが、具体的な取り組みはできなかった。
- イ 法人の事業方針に準じた取り組みを行なう
 - ・昨年度に引き続き、住み慣れた環境で安心して生活を送れるよう、「予防も福祉」という視点を持って、地域の回覧板を活用し、恵の園独自で作成したリーフレットで情報提供を行なった。

③社会福祉に関する教育活動や情報提供

- ア 世界の子供にワクチンを送る支援の協力のため、ペットボトルのキャップの収集を継続した。
- イ 福祉体験学習及び職場体験活動については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
- ウ 榛名女子学園の介護職員初任者研修に講師 15 名、23 日間派遣した。
- エ 福祉系専門学校及び大学の学生さんの資格取得に向けた現場での実習を、延べ 48 名、249 日間に渡り受け入れた。
- オ 福祉・教育・医療分野の広報誌「魁」を年 4 回、毎回 3,000 部発行し、一般の方々へ福祉啓蒙活動を行なった。

④福祉サービス対象外の方への支援

- ア 通院・入院が困難な方々に対して、職員が同行し、手続きや入院中の支援を行なった。
- イ 障害特性等で地域生活が困難な利用者 1 名に対して、職員寮を安価で提供し、生活全般の支援を行なった。

⑤地域の福祉ニーズに対する取り組み

- ア NPO 法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会に役員 1 名が経営参加、また、職員 1 名を派遣し、渋川市の相談支援を中心としたニーズに応えるとともに相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し計画相談や一般相談を行なった。
- イ ボランティア団体信愛えんがわカフェが主催するフードパントリーへ寄付品の協力を継続した。

⑥少年矯正事業への協力

- ア 前橋家庭裁判所および高崎家庭裁判所からの補導少年の福祉現場での体験実習を受入れた。

	期間	性別	人数		期間	性別	人数
1	7/31～8/4 (5 日間)	女	1				
				計	1 人	(5 日間)	

(令和 4 年度 2 人)

- イ 榛名女子学園の園生の福祉現場での奉仕活動については、11 月と 3 月に受け入れを行なった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	7

(令和 4 年度 0 人)

⑦災害時における要配慮者への支援

- ア 地域の方々が災害時・遭難時など食物・飲用水の入手が困難な場合に備えるため防災備蓄食の在庫の確認を行なった。

令和5年度

施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

種 別	施 設 名 称
障 害 者 支 援 施 設	グ レ イ ス ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	あ け ぼ の ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	め ぐ み の 里
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	カ ナ ン
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	マ イ ー ム
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ベ テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	エ ス テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	シ ャ ロ ー ム
デ イ サ ー ビ ス	ゆ う か り
相 談 支 援 事 業	ぶ ど う の 木
居 宅 介 護 支 援 事 業	シ オ ン の 丘
収 益 事 業	オ リ ー ブ

目 次

第1章 年間行事、集会等	1
第2章 会議・研修・集会等一覧	3
第3章 入所系サービス	
1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	5
2. あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	10
3. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	17
4. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕	22
5. マイーム〔共同生活援助事業〕	29
第4章 通所系サービス	
1. ベテル〔就労継続支援事業B型〕	31
2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕	35
3. シャローム〔就労継続支援事業B型〕	39
4. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕	42
第5章 相談支援サービス	
1. ぶどうの木	44
2. シオンの丘	46
第6章 収益事業	
1. オリーブ	47

第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイスホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、エ=エステル、シャ=シャローム、さ=さつき、マ=マイーム

カ=カナン、ゆ=ゆうかり、ぶ=ぶどうの木、シ=シオンの丘、高=高齢者施設)

月	合同行事	施設別行事	研修会・集会・会議	その他
4	辞令交付式 3日	お花見（各施設で実施）	現任研修1回(各施設で実施) 新任職員研修 3～6. 14日 役職研修 15日 創立の精神を学ぶ集い 17日 虐待防止研修 25日 理事会 26日	チャイの日 14日
5		キラキラレク(知的) 12日	現任研修1回(各施設で実施) 新任指導職研修 8日 理事長研修 5. 17日 経営会議 15日 監事監査 19日 一般職研修 19日 理事会 26日	
6		親笑レクリエーション(身障) 28日	現任研修1回(各施設で実施) 評議員会 15日 理事会 15日 指導職研修 16日 故人を偲ぶ会 19日	地域サービスウィーク 26～30日
7	納涼祭 28日		現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 3日 全体研修 3日 経営会議 10日 管理職研修 14日 運営協議会 18日 創立の精神を学ぶ集い 22日	
8		暑気払い会食会(AH) 2日 日帰り旅行(B) 10日 夏祭り(ゆ) 28. 31日	現任研修1回(各施設で実施)	職員リフレッシュ交流会① 27日
9	介護職員初任者研修開講式 5日	旬味祭(GH) 8日 夏季レクリエーション(エ) 9日 敬老の日お祝い(カ) 27日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 11日 創立の精神を学ぶ集い 16日 理事会 25日	職員リフレッシュ交流会② 23日

10	チャリティバザー 7 日 園内バザー 10～12 日 創立記念日(55 周年) 20 日	日帰り旅行(エ) 18 日 りんごツアー(ゆ) 18～21 日 秋の大運動会(カ、ゆ) 25 日	現任研修 1 回(各施設で実施) 一般職研修 13 日 創立の精神を学ぶ集い 16 日 永年勤続職員表彰 16 日 評議員会 16 日 役職研修 18 日	職員リフレッシュ交流会③ 8 日
11	秋桜祭作品展示 15～29 日	日帰り旅行(B) 9 日 秋を楽しむ会(カ) 22 日 秋覚祭(GH) 28 日 友近 890 ミニライブ(里) 30 日	現任研修 1 回(各施設で実施) 全体研修 1 日 感染症訪問研修 6 日 経営会議 20 日 指導職研修 20 日 役職研修 22.24 日 創立の精神を学ぶ集い 27 日	地域サービスウィーク 13～17 日 職員リフレッシュ交流会④ 16 日
12	クリスマス集会 25 日 仕事納め 28 日	年末会食会(AH) 6 日 会食会(エ) 6 日 望年会(カ) 20 日 クリスマスティーパーティー(里) 25 日 日慰労会(B) 28 日 慰労会(ジャ) 28 日	現任研修 1 回(各施設で実施) 理事会 8 日 運営協議会 13 日 創立の精神を学ぶ集い 18 日	
1	仕事始め 4 日 成人式 22 日	新年会(カ) 10 日 新任会(GH) 12 日	現任研修 1 回(各施設で実施) 経営会議 15 日 創立の精神を学ぶ集い 22 日	
2			現任研修 1 回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 19 日	
3			現任研修 2 回(各施設で実施) 理事会 1 日 新任フォローアップ研修 4.11 日 経営会議 18 日 管理職研修 22 日 創立の精神を学ぶ集い 25 日 評議員会 23 日	職員壮行会 25 日

第2章 会議・研修・集会等一覧表

各施設の会議及び集会、研修について下記のとおり実施した。

(1) 会議・集会等

	会議等の種類	曜日・回数等	時 間	場 所	出席の範囲
会 議	経営会議	隔月	13:30~15:30	めぐみの里会議室	理事長、施設長
	管理職会議	毎週火曜日	10:10~12:00	めぐみの里会議室	施設長、副施設長
	チーフ会議	第2火曜日	13:00~14:00	めぐみの里会議室	チーフ(各部署から1名)
	地域福祉係会議	第1金曜日	14:10~16:00	めぐみの里会議室	地域福祉係担当者
	人材育成係会議	第2金曜日	14:30~16:00	めぐみの里会議室	人材育成係担当者
	広報係会議	第4金曜日	14:00~16:00	めぐみの里会議室	広報係担当者
	防災防犯係会議	第1水曜日	14:10~16:00	めぐみの里多目的室	防災係担当者
	安全衛生委員会	第2金曜日	13:30~14:30	めぐみの里会議室	安全衛生管理監督者、衛生管理者、産業医、担当職員
	D X 係会議	第2木曜日(奇数月)	14:10~15:00	めぐみの里会議室	D X 係担当者
	固定資産管理係会議	隔月	14:10~15:00	めぐみの里会議室	固定資産管理係担当者
	支援向上委員会	第3金曜日	14:10~16:00	めぐみの里会議室	支援向上委員担当者
	ベテル会議	第3木曜日	16:00~17:00	ベテル製袋班	施設長、所属職員
	グレイスホーム会議	月2回木曜日	14:00~16:00	グレイスホーム職員室	施設長、所属職員
	あけぼのホーム会議	毎月1回	14:00~16:00	あけぼのホーム職員室	施設長、所属職員
	めぐみの里会議	毎月1回	14:00~16:00	めぐみの里多目的室	施設長、所属職員
	シャローム会議	毎月1回	16:00~17:30	シャローム職員室	施設長、所属職員
	エステル会議	第3木曜日	16:00~17:00	エステル職員室	施設長、所属職員
	知的障害者施設 給食会議	第3木曜日	13:00~14:00	めぐみの里会議室	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	バルナバホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さくらホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	クロスホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ダビデホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ぶどうの木会議	第3水曜日	10:00~12:00	ぶどうの木相談室	施設長、所属職員
	カナン会議	第1.3水曜日	10:30~12:00	カナン会議室	施設長、所属職員
	ゆうかり会議	第3火曜日	14:00~16:00	ゆうかりデイルーム	施設長、所属職員
	庶務・経理係会議	第1水曜日	10:00~12:00	庶務・経理事務室	総務部長、所属職員
	身体障害者施設 給食会議	第3水曜日	14:00~15:00	グレイスホーム食堂	栄養士、給食担当者、業務委託者他
集 会 等	職員朝礼	毎日	8:40~8:50	合同事務所	全職員
	全体朝礼	毎週月曜日	8:55~9:10	あけぼのホーム前広場	身体障害者施設利用者、職員
	創立の精神を学ぶ集い	土又は月 月1回	10:20~11:30	めぐみホール	利用者、職員

(2) 研修会

研 修	管理職研修(名誉会長による)	年 2 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	管理職
	指導職研修(名誉会長による)	年 2 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	指導職
	新任チーフ研修	年 1 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	新任チーフ
	新任職員研修	年 1 回	9:00~20:00	カナン地域交流室	前年度中途採用職員、新任職員
	新任職員研修(フォローアップ研修)	年 2 回	9:00~12:00	カナン地域交流室	前年度中途採用職員、新任職員
	現任研修(一部役職研修含む)	年 15 回	各部署で設定	各部署	理事長、管理職、指導職、一般職他
	全体研修	年 2 回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職員

第3章 入所系サービス

1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

(1) 概要

県外・市内からの利用者獲得を行ない、満床となった。

利用者の生活環境の向上を狙い、洗濯場やエアコンの整備、居室清掃をスケジュールに組み込み実施した。また、外出支援を再開。全利用者が外出された。

利用者の健康維持を重点に置き、体操を機能訓練の時間へ変更し重点的に身体を動かす時間を整えた。

(2) 年間入退所

退所日	性 別	支援機関	入所日	性 別	支援機関
7月8日	男性	渋川市	4月19日	男性	世田谷区
3月11日	男性	世田谷区	7月3日	男性	みどり市
			12月4日	男性	吉岡町

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す

- ・現任研修を通して、高次脳機能障害、知的障害、強度行動障害について学び、施設内での具体例と併せて検討・対応策を考えた。
- ・アンガーマネジメント研修をDVDや外部講師のビデオ受講によって実施。現任研修でも発表し、支援に繋げた。

②利用者の健康維持の強化

- ・朝の体操時間を機能訓練の時間と統合。体操から訓練への流れができ、参加者の増加に繋げた。
- ・外出支援を再開。外出の楽しみを持ちながら、機能維持に努めた。また、散歩支援も実施した。

③老朽化した箇所の整備をし、心地よい生活環境を維持する。

- ・ガス乾燥機、医務室エアコン、館内ワックスを実施。また、希望する利用者へ居室清掃を実施した。床の剥がれ等があり、今後対策が必要。

(4) 利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・外出支援を再開。全利用者が参加された。入浴の見直しを継続的に実施。衛生的に且つ、個人個人が求める入浴時間を提供できるよう努めた。会食会は四季それぞれで実施。利用者が好むメニューや旬な食材を提供した。

イ 機能訓練

- ・朝の体操を機能訓練の時間と併せて実施した。参加者が微増することができた。
- ・理学療法士と連携し、生活の中で実施できる訓練内容をケース会議やリハカンファレンス等で検討し日常的に実施した。

ウ 創作・文化活動

- ・施設内でも出来る活動として料理クラブ「ぴあっと」を月1回から2回に変更して実施した。
- ・創作活動も「季節を感じる」をテーマに年間計画を立てて計画的に実施できた。作成した創作物は館内に飾り季節感を演出できた。
- ・秋桜祭に向けて大型の展示物を作成した。出来上がった作品は館内に展示した。

エ 生産活動

- ・封入作業は前年度の納期の課題に向けて広報担当と検討し、作業の一部負担を依頼した。参加率は増加しているため、作業工程の内容を来年度の課題とする。

オ 医務面

- ・定期的な検査・健康診断を行ない、異常が見られた利用者には医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を図った。
- ・生活支援員と看護師で連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行った。
- ・令和6年3月21日に利用者1名がコロナウイルスに感染。保健所と連携を取りながら感染拡大防止に努めた。結果、他利用者への感染は無かった。
- ・年間報告

月	項 目	内 容
5	利用者採血 利用者レントゲン	(株) BML 27名 利用者 28名
6	利用者前期健康診断 コロナワクチン	嘱託医：利用者 27名 利用者 24名
7	深夜業従事者健康診断	三愛クリニック（職員 8名）
10	利用者定期結核健康診断 インフルエンザ予防接種①	渋谷保健福祉事務所 利用者 14名
11	インフルエンザ予防接種②	利用者 11名

12	利用者後期健康診断	嘱託医：利用者 28 名
1	35 歳未満健康診断	三愛クリニック（職員 4 名）
※生活習慣病予防健診（35 歳以上の職員）		
※訪問歯科実施（オーラルケア前橋デンタルクリニック：毎週火曜日）		

・通院状況（延件数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
127	15	1	22	42	26	70	77	49	24	10	8	3	474

（令和 4 年度 450 件）

・園内治療状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
652	508	587	615	518	622	696	637	691	661	614	754	7,555

（令和 4 年度 5,924 人）

・医師診察状況（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
14	14	51	40	14	14	27	46	28	13	13	13	287

（令和 4 年度 246 人）

・訪問歯科（延人数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
20	29	23	24	25	25	35	24	25	24	19	24	297

（令和 4 年度 260 人）

・入院状況

氏 名	病 名	入院期間	病 院
T.K.	統合失調症、糖尿病	R4.12/22～9/27	榛名病院
K.F.	統合失調症	1/23～4/17	榛名病院
K.I.	誤嚥性肺炎	3/17～4/3	北毛病院
T.N.	胆管炎	4/9～4/25	渋川医療センター
K.I.	誤嚥性肺炎	4/6～4/24	北毛病院
T.T.	下咽頭癌	5/6～7/8	北毛病院、渋川医療センター（5/17～）
K.I.	イレウス・肺炎	7/11～12/13	北毛病院
M.M.	肺炎	7/24～7/28	北毛病院
S.S.	尿路感染	8/1～8/9	渋川医療センター
K.H.	統合失調症	10/27～12/15	榛名病院
K.I.	食欲不振	12/25～	北毛病院、榛名病院（2/16～）

N.T.	胆管炎	1/1～1/29	渋川医療センター(手術 ：太田記念病院)
Y.K.	右下肢蜂窩織炎	1/4～1/23	北毛病院
I.U.	無菌性髄膜炎	2/25～3/11	渋川医療センター
K.I.	胆嚢炎	2/29～4/10	渋川医療センター
N.W.	コロナウイルス	3/21～4/1	渋川医療センター
K.T.	急性肺炎	3/27～	北毛病院
T.K.	肺炎	3/30～	北毛病院

カ 食事面

- ・利用者個人の健康状態や嚥下機能等に合わせて食形態を検討し提供した。さらに嚥下困難者への食事介助や自助具の導入、パーテーションを設置し食事環境への配慮を行なった。
- ・委託業者のもと、テーマ毎のイベント食、選択メニューなどを定期的に提供した。

②年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	7	花見（旬味祭）	10	31	ハロウィン行事
6	29	親笑レク	12	23	クリスマス集会
7	29	納涼祭	1	5	自治会主催新年会
8	18	日中想定避難訓練	3	27	夜間想定避難訓練
8	25	旬味祭（自治会主催バーベキュー）	3	29	地震想定訓練

③建物設備整備状況

月	内容	月	内容
4	ひまわり棟浄化槽センサー交換 ボイラー室点検・交換修理	10	害虫駆除 ボイラー保守点検
5	医務室エアコン設置	11	館内ワックス掛け
6	ガス乾燥機設置 洗濯機 3 台設置	1	浄化槽フロートスイッチ交換
7	館内ワックス掛け	2	防災対象物点検 ひまわり棟浄化槽点検 ひまわり棟ブローア―修理 スプリンクラー・オートクレーブ点検
8	リフト浴設置	3	受水槽清掃

9	利用者エアコン工事		
---	-----------	--	--

(5) 短期入所事業

①概要

新規利用者の入所前体験利用や相談支援事業所と連携をとりながら福祉施設としてのサービスが必要な方の受け入れ対応をした。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
沼田市・吉岡町	2名	男性	3回	8日

利用稼働率：2.1%（前年度 16.4%）

③重点目標に対する取り組み

ア 個別支援計画を本人・家族の希望や意見を確認しながら作成した。必要時には相談支援事業所や利用している通所作業所等にも話しを伺った。本人にとって安心、安全な生活が送れるよう声掛けを行なった。

イ 利用希望や施設見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるように働きかけ、利用にあたっての相談等を行なった。

2. あけぼのホーム〔生活介護・施設入所支援事業〕

（1）概要

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、あけぼのホームでの対応（面会や外出、ボランティアの導入等）を変更した。年末から年始にかけ1階利用者と職員に新型コロナウイルス感染が拡大した。あけぼのホーム建て替えの設計管理業者を株式会社新環境設計として相談をすすめる件が3月理事会で承認された。現任研修は集合形式ではなく、担当者が研修動画を作成して各自で確認した。電話交換機の更新工事を実施した。

（2）年間退所・入所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
1月31日	女性	新宿区	4月3日	女性	江戸川区
			6月13日	女性	墨田区
			9月26日	男性	八王子市

（3）重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す。

- ・現任研修は、担当職員が研修動画を作成し全職員で視聴した。セルフチェックリストの集計結果を踏まえ、居室の環境美化を強化した。第三者評価で、利用者から予定が分かりにくいとの指摘があったため、館内の掲示板の位置を変更し月間の予定をホワイトボードに記入する対応を行なった。
- ・利用者1名の意思伝達装置を新たに導入した。離床センサーを1台増やし、眠りスキヤンの使用者を変更した。また、ケアパレットを導入し健康記録への入力を開始した。

（4）生活介護・施設入所支援

①日常生活支援

- ・ケース会議、身体拘束適正化会議を3ヶ月に1回、職員会議を月1回開催した。職員会議では契約職が多く参加できるようスケジュールを調整した。栄養ケア会議とリハビリカンファレンスを同時に開催した。
- ・骨密度検査で骨粗しょう症の診断が数名あったため、移乗支援について見直した。

（5）生活介護・施設入所支援事業

①生活支援

- ・事故、インシデント、ヒヤリハットは、その都度、検討し再発防止を含めた対応を全職員に周知した。
- ・食事介助では、飲み込みを確認してから介助することを徹底したり、食事の介助時間

を決めるなどして誤嚥や窒息予防に取り組んだ。

②リハビリテーション

- ・利用者一人ひとりの身体機能が維持できるよう、生活に活かすリハビリを計画して進めた。
- ・集団で楽しみながら機能維持を図るために、ボッチャを実施した。
- ・コロナ感染症対策で自粛していた身障スポーツ大会への参加を再開した。

③日中活動

- ・傾聴ボランティア、将棋・囲碁ボランティアを導入した。また、利用者が作業をする布切りボランティアも始めた。月1回のリトミックは継続した。

活 動	内 容
一粒の会	あけぼのコミュニティー教会牧師、スタッフの協力による賛美集会
文芸同好会	自作の俳句、短歌、詩を詠む。
カラオケクラブ	ゲーム機のオンラインでカラオケを使用し、各々の得意な歌を歌ったり、カラオケ大会へ向けての練習を行なう。
手芸会	秋桜際出展作品の制作や、季節の貼り絵作り、編み物をしたりと利用者が色々な材料を使いながら楽しく、作品作りを行なう。
娯楽クラブ	テレビゲームの体感型ゲームやレクリエーションなど体を動かしながら楽しく行なう。

④健康管理

- ・栄養アセスメントを行ない、適切な栄養状態となるよう栄養ケア計画を立てた。栄養面だけでなく、食事の形態や活動状況もあらためて見直した。
- ・毎日の検温に加えて、特に配慮が必要な利用者は、血圧測定、酸素飽和度の測定も継続した。また、入退院を繰り返す利用者に対しては、申し送りや連携を密接にして、状態の観察に努めた。
- ・新規入所者や短期入所者の受け入れ時、家庭や病院等での様子を聞き取り、変化に応じた支援を他職種と連携を図りながら進めた。
- ・訪問歯科と治療方針について打合せを続けた。まずは、優先順位の高い利用者の治療を集中的にすすめることとした。
- ・各月状況

月	内 容
5	採血（利用者）
6	前期健康診断実施（利用者） 令和5年春コロナウイルスワクチン接種（利用者・職員）
7	胸部X-P（利用者）

	深夜業従事職員健康診断（職員）
9	聴打診（利用者） 耳鼻科検診（利用者）
9～3	生活習慣病予防健診（職員）
11	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員） 令和5年秋コロナウイルスワクチン接種（利用者・職員） 歯科検診（利用者）
12	後期健康診断事前検査実施（利用者）
1	後期健康診断実施（利用者） 35歳未満職員健康診断（職員）

・通院状況（延べ人数）

内 科	外 科	耳 鼻 科	眼 科	皮 膚 科	神 経 科	泌 尿 器 科	呼 吸 器 科	脳 外 科	整 形 外 科	循 環 器 科	神 経 内 科	精 神 科	婦 人 科	合 計
31	27	0	9	12	0	125	5	13	18	13	10	29	2	294

（令和4年度 281）

・園内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
597	560	528	589	589	551	596	603	572	545	648	657	7035

（令和4年度 7,751）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	1512

（令和4年度 1,512）

・入院状況

氏 名	病 名	期 間	病院名
A.R	尿路感染症	3/23～4/6	北毛病院
	誤嚥性肺炎	5/8～1/31	北毛病院
A.R	下血	3/23～4/17	北毛病院→群大附属病院に 転院
	S状結腸癌	4/17～6/15	
	腰椎圧迫骨折	6/28～7/19	関口病院
	脳梗塞	12/4～1/30	北毛病院

A.H	誤嚥性肺炎	5/20～7/10	北毛病院
O.T	急性胆嚢炎	4/1～4/21	北毛病院
O.J	急性胃拡張	6/2～10/18	北毛病院
	発熱	11/22～12/19	北毛病院
	消化管出血	2/6～2/21	北毛病院
O.M	尿路感染症	6/9～6/15	有馬クリニック
	尿路感染症	7/24～7/31	有馬クリニック
	蜂窩織炎	8/28～9/5	有馬クリニック
	蜂窩織炎	9/25～10/3	北毛病院
S.K	尿路感染症	6/10～6/21	有馬クリニック
	尿路感染症	11/14～11/24	有馬クリニック
	尿路感染症	2/19～2/24	有馬クリニック
S.K	急性胃拡張	4/20～5/8	北毛病院
T.Y	肺炎	5/24～6/8	北毛病院
	誤嚥性肺炎	3/16～3/29	北毛病院
T.K	誤嚥性肺炎	7/8～7/24	渋川医療センター
	尿路感染症	8/15～9/13	北毛病院
	尿路感染症	11/16～12/4	北毛病院
T.H	ペグカテーテル交換	7/10～7/11	北毛病院
	尿路感染症	8/22～9/28	北毛病院
	尿路感染症	9/29～1/29	北毛病院
	ペグカテーテル交換	3/13～3/14	北毛病院
M.T	蜂窩織炎	6/27～7/10	北毛病院
	蜂窩織炎	10/24～11/22	北毛病院
M.O	誤嚥性肺炎	7/5～8/16	北毛病院
G.H	ステント交換	6/14～6/16	渋川医療センター
	ステント交換	9/20～9/22	渋川医療センター
	ステント交換	12/20～12/22	渋川医療センター
	ステント交換	3/13～3/16	渋川医療センター
S.H	胸椎圧迫骨折	10/3～10/11	関口病院
M.H	蜂窩織炎	10/27～11/21	北毛病院
	尿路感染症	3/1～3/8	渋川医療センター
O.T	コロナ感染症	1/5～2/16	利根中央病院
K.Y	脱水症状	1/9～1/30	北毛病院
S.A	卵管膿腫	3/6～3/21	利根中央病院→群大附属病
	血友病	3/21～	院に転院

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
59	59	60	55	61	67	76	48	68	23	42	61	679

（令和4年度 708）

※ 令和5年度はコロナ感染症拡大のため訪問歯科を中止した日があった。

⑤食事

- ・食材料費等の高騰があり、委託業者から値上げの要望があった。令和5年度から食材料費を値上げしたが、利用者の負担額は継続した。
- ・食器の定期購入や厨房機器のメンテナンス等、使用頻度の高いものから随時買い換えを行ない、厨房の職員が使いやすい環境整備に努めた。
- ・利用者の身体状況や嚥下機能の低下がみられる。摂食嚥下専門医や他職種と連携しながら確認し、個々に適した食事提供や支援を実施した。

【常食】

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	1,564	1,552	1,546	1,563	1,566	1,562
蛋白質	60.5	59.6	62.0	62.7	63.0	60.4
脂質	45.3	43.7	44.5	44.5	45.9	45.3
塩分	8.1	8.3	8.2	8.5	8.3	8.3
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー	1,554	1,541	1,544	1,547	1,560	1,530
蛋白質	60.9	61.5	61.1	61.1	62.8	61.3
脂質	44.5	43.0	43.2	42.9	43.9	42.9
塩分	8.6	8.3	8.3	8.3	8.2	8.4

【軟菜食】

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー	1,374	1,367	1,355	1,373	1,382	1,369
蛋白質	51.5	50.1	52.2	52.5	54.1	52.2
脂質	44.7	44.1	44.6	44.6	43.7	43.7
塩分	8.4	8.7	8.4	8.9	8.6	8.7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー	1,360	1,389	1,371	1,373	1,385	1,349
蛋白質	51.3	52.6	51.5	51.5	52.6	51.4
脂質	44.5	44.0	43.6	44.1	45.4	42.9
塩分	8.8	8.7	8.8	8.6	8.4	8.7

⑥年間行事報告

月	日	内容	月	日	内容
4	12	お花見会食会	10	4 10 23 25	館内ワックス掛け 恵の園チャリティーバザー BCP 避難所立ち上げ(法人) 訓練 第3者委員来園
5	30	日中想定防災訓練	11	1 14 21,24 15～29	館内ワックス インフルエンザ予防接種 コロナワクチン接種 恵の園秋桜祭
6	20,23 28	コロナワクチン接種 親笑レクリエーション大会	12	6 25	年末会食会 恵の園クリスマス集会
7	12 13,27 19 28	建物 12 条検査 館内ワックス 聴打診 胸部レントゲン 恵の園納涼祭	1	24 25	第三者評価(聞き取り調査) 35 歳未満職員健康診断
8	2 16	暑気払い 館内ワックスがけ	2	14 20	新年会 地震想定訓練
9	13,20	耳鼻科検診	3	7	夜間想定防災訓練

(6) 建物設備整備状況

- ・館内のトイレ、エアコン、浴室の清掃を業者に依頼して実施した。
- ・あけぼのホーム建て替え工事について、東京都施設サービス支援課に相談した。
- ・1階ピンクの公衆電話の撤去(使用不可となるため)
- ・電話交換機の更新工事を実施した。

(7) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・江東区の方は入所を視野に入れて短期入所を利用したが、入所には至らなかった。
- ・目黒区の短期入所利用者の利用はなかった。

②利用状況

〔短期入所事業〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
江東区	1名	男	1回	15日
合計	1名		1回	15日

〔目黒区重度身体障害者短期入所事業委託〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
目黒区	0名		0回	0日
合計	0名		0回	0日

3. めぐみの里〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

令和4年度に起きた虐待事案に対して、令和5年4月に策定した「改善報告書」に沿って、改善に向けた取り組みを行なった。その中で職員の連携強化を図るためにICT導入補助金を活用し、令和6年3月末にインカムを導入した。また、ぐんま強度行動障害支援者総合事業に参画し、コンサルタントによるアドバイスを受けながら、強度行動障害者へのアプローチ方法など、実際に取り組みながら学んだ。令和6年度も引き続き参画する。

3月にはノロウイルスによる集団感染が発生し、1ヶ月以上、感染が拡大しないよう隔離対応などの対応を行なった。

(2) 年間入退所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
5/23	男性	渋川市	8/1	男性	太田市
6/5	男性	渋川市	8/1	女性	江戸川区
6/9	男性	渋川市	9/1	男性	福生市
10/31	男性	渋川市	3/1	男性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①「虐待」の再発防止に努める

- ・障害特性、身体状況にあわせた「居室変更」を実施する

変更案を複数挙げ、役職会議と職員会議、ブロック会議で話し合いをした。結果、3階で介護度が高い利用者1名を2階に変更した。また、新入所者に合わせて一部の居室を変更した。今後も利用者の状況を見ながら、必要に応じて変更を行なう。

- ・「職員の勤務形態」を見直す

3階フロアの起床介助を行なう職員が1名だったため、6時半から3階勤務に入る職員を配置し、夜勤者の負担軽減を図った。

- ・「第三者評価」を受審し、支援の質の向上を図る

令和5年度から群馬県の第三者評価方式が変更になったため、受審できなかった（令和5年度はプレ評価を2月に受審した。令和6年度から本格的に再開するため9月頃に受審する予定）。

(4) 生活介護事業・施設入所支援事業

①生活支援

- ・見守りカメラのパスワードを全職員にパスワードを開示し、怪我などの状況をすぐに確認できるようにした。
- ・利用者の重度化に伴い、浴室の改修や機械浴の導入などの検討を行なった（見積り、補助金申請）。しかし、補助金申請は否採択で、改修工事も高額だったため、再検討

する。

- ・コロナ禍で帰省を制限していたが、5 類移行に伴い再開した。また、全体行事についても徐々に制限を緩和して、楽しむことができた。

②健康管理

- ・インフルエンザとコロナウイルスの感染は防げたが、3月にノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行し、利用者35名、職員7名が感染した。
- ・嘱託医協力の下、利用者・職員のコロナウイルスのワクチン接種、インフルエンザ予防接種を実施した。
- ・12月より毎週木曜日に言語聴覚士が訪問し、訓練を開始した。
- ・年間報告

月	項 目	内 容
5	利用者採血 利用者定期結核健康診断	ビーエムエルで検査 渋川保健福祉事務所
6	利用者前期健康診断 コロナワクチン接種	嘱託医
7	深夜業従事者健康診断	三愛クリニック
11	利用者後期健康診断 インフルエンザ予防接種 コロナワクチン接種 耳鼻科検診	嘱託医 嘱託医 嘱託医 川島医師
12	利用者後期健康診断 コロナワクチン接種 耳鼻科検診	嘱託医 嘱託医 川島医師
1	35歳未満職員健康診断	三愛クリニック
※	生活習慣病予防健診（35歳以上の職員）	

※毎週、嘱託医（井口Dr）が来園

※奇数月に摂食嚥下専門医（山川Dr）が来園

・通院状況（延人数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	精神科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
36	21	3	15	51	13	119	95	75	30	0	5	2	465

（令和4年度 384件）

・園内治療状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
568	513	457	463	498	436	500	428	445	555	508	311	5,682

（令和4年度 5,457人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託医 4	4	2	0	4	4	3	1	1	7	10	1	41
歯科 43	42	49	48	45	52	61	55	40	54	48	0	537

（令和4年度 嘱託医 50人）

（令和4年度 歯科 462人）

・入院状況

氏 名	病 名	入院期間	病 院
U.M	服薬調整	1/31～8/29	榛名病院
W.T	てんかん発作	3/17～6/14	北毛病院
N.M	左下肢骨折	4/1～5/17	サンピエール病院
I.T	腫瘍	4/19～5/23	渋川医療センター
Y.T	肺炎	4/12～19	渋川医療センター
S.H	肺炎	5/21～6/9	渋川医療センター
N.K	包茎手術	6/20～21	有馬クリニック
W.T	てんかん発作	6/24～7/25	北毛病院
W.T	重責発作	9/10～	北毛病院
Y.T	イレウス	11/5～20	渋川医療センター
M.S	肺炎	11/18～21	渋川医療センター
M.S	肺炎・服薬調整	11/21～2/13	榛名病院
A.S	保護入院	12/12～2/20	榛名病院
K.S	蜂窩織炎	1/2～1/17	関口病院

※骨折事故：11件、裂傷事故6件、無断外出：0件、職員労災事故：3件

③食事

・ビタミンDの充足を目標とし、ビタミンDを多く含む食材やジョアなどを積極的に献立に取り入れるようにした。しかし、年間平均で60%程度の充足率にしかならなかった。ビタミンDを多く含むヨーグルトなどもあるが、発注数や食材費の関係で提供に至らなかった。引き続き検討する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー (kcal)	1,858	1,863	1,861	1,861	1,858	1,854
蛋白質 (g)	71.0	71.6	72.0	71.2	73.1	71.5
脂 質 (g)	51.5	52.7	50.4	50.4	51.0	50.1
塩 分 (g)	8.4	8.8	8.8	8.7	8.7	8.7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー (kcal)	1,860	1,851	1,864	1,860	1,853	1,864
蛋白質 (g)	73.1	72.1	73.6	73.1	71.9	72.4
脂 質 (g)	50.9	50.7	52.8	50.8	50.7	51.0
塩 分 (g)	8.6	8.9	8.8	8.7	8.8	8.8

④年間行事報告

月	日	内容
4	7	花見
5	12	キラキラレク
	25	自治会集会
6	2	Uレク
	21	防災訓練（夜間検証）
	28	地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業）
7	28	納涼祭

	31	自治会集会
8	30	防災訓練（夜間想定）
9	12	福祉パレード 群馬ナイスハートフェア
10	6 8	ふれあいボウリング 群馬県障害者スポーツ大会フライングディスク
11	10 16,17,25 16 25 30	Uレク 秋桜祭作品見学及び秋桜祭 DVD 鑑賞 地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業） 自治会集会 友近 890 笑顔ライブ
12	21 24	防災訓練（日中想定） クリスマス集会、クリスマスティーパーティー
1	4 6	新年会 自治会集会
2	3 28	節分 地震想定避難訓練

※コロナ禍のため、家族連絡会は中止した。

（５）建物設備整備状況

実施月	内 容
4	簡易専用水道定期検査、浄化槽 11 条検査、厨房炊飯器交換 3 階法人玄関上ベランダネット設置、
5	2 階ほたか洗面所 乾燥機設置、食堂放送設備修理 厨房食洗器メンテナンス、段ボール倉庫扉修理
6	ADバン車検、食器洗浄機 2 台設置（ほたか、しらねスタッフルーム内）
7	建物害虫駆除、ワゴン R エアコン修理
8	消防設備点検不備箇所修理
9	医務室天井全面改修、はるな洗濯パン交換工事
10	厨房換気扇修理、非常灯交換、アトラス車検
11	多機能加湿器メンテナンス、消川消防署立入検査
12	ホイールローダータイヤ新規交換及び点検、日産ノート冬用タイヤ新規交換 誘導灯交換
1	1 階合同事務所前廊下スプリンクラーヘッド交換
2	インカムアクセスポイント設置 インカム納品（ソフト、iPhone、ネックスピーカーなど）
3	ワゴン R 車検

※ワックス掛け：6,9,11,3 月の年 4 回実施（平成美装）

- ・3月にノロウイルスが流行したため、令和6年4月に実施
- ※エレベーター点検：5,8,10,2月の年4回（東芝エレベーター）
- ※消防設備点検・消火器点検：5,11月（共和消防設備）
- ※スプリンクラー法令点検：8,2月（正栄技研）
- ※厨房害虫駆除：4,1月（ダスキナーミニックス）
- ※ボイラー保守点検：5,10月（日本サーモエナー）※10月は缶体煤洗浄も実施

（6）短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・過去に利用実績がある利用者、法人内グループホーム利用者、入所を前提とした利用者など状況によって、短期入所の受け入れを行なった。

②年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	0	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1	1
延べ日数	0	28	36	31	23	0	0	0	0	9	28	31

（7）日中一時支援事業

①重点目標に対する取り組み

- ・恵の園の通所を利用している利用者を中心に受け入れを行なった。

②年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	2	4	4	2	0	0	0	2	3	4	1	0
延べ回数	2	4	4	2	0	0	0	2	3	4	1	0

4. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕

(1) 概要

年間 24 名の利用者が入所となったが、23 名の利用者が退所となり、全体の人数は横ばいだった。退所者の内 14 名の方が在園期間 1 年未満という状態だった。ヒトメタニューモウイルスや疥癬等の感染症にかかる方が多く、利用者の免疫の低下を感じる 1 年だった。

(2) 年間入退所状況

<入所>

入所日	性 別	保険者	入所日	性 別	保険者
4 月 5 日	男性	渋川市	9 月 4 日	男性	渋川市
4 月 20 日	女性	渋川市	9 月 11 日	女性	渋川市
4 月 24 日	男性	渋川市	9 月 12 日	男性	渋川市
4 月 26 日	男性	渋川市	9 月 12 日	女性	渋川市
5 月 10 日	女性	渋川市	10 月 10 日	女性	吉岡町
5 月 15 日	男性	渋川市	10 月 16 日	女性	渋川市
6 月 20 日	男性	渋川市	11 月 6 日	女性	前橋市
6 月 28 日	女性	渋川市	11 月 13 日	女性	渋川市
7 月 6 日	女性	高崎市	2 月 16 日	男性	長野原町
7 月 13 日	女性	渋川市	2 月 21 日	女性	高崎市
8 月 7 日	男性	渋川市	3 月 15 日	女性	渋川市
8 月 10 日	女性	渋川市	3 月 27 日	女性	渋川市

<退所>

退所日	性 別	保険者	退所日	性 別	保険者
5 月 7 日	女性	前橋市	10 月 20 日	女性	渋川市
5 月 18 日	女性	渋川市	11 月 3 日	女性	渋川市
6 月 7 日	女性	渋川市	11 月 5 日	男性	渋川市
6 月 10 日	男性	渋川市	12 月 8 日	男性	渋川市
6 月 23 日	男性	渋川市	12 月 21 日	男性	渋川市
6 月 29 日	女性	渋川市	1 月 10 日	女性	渋川市
7 月 19 日	女性	渋川市	1 月 11 日	女性	渋川市
7 月 28 日	男性	渋川市	1 月 20 日	男性	渋川市
8 月 11 日	女性	渋川市	2 月 5 日	女性	吉岡町
9 月 29 日	男性	中之条町	2 月 12 日	女性	渋川市
10 月 18 日	女性	渋川市	2 月 19 日	女性	渋川市
			2 月 20 日	女性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①潤いと生きがいがある生活が送れるよう、日中活動の充実を図る

- ・季節の行事に向けて、創作活動や歌、ゲームなどを行なった。

②利用者が安心して生活を送れるような支援を構築する

- ・技能実習、特定技能の職員が夜勤を行なう時限定ではあったが、4人体制での夜勤を体験し、今後の体制に繋げる準備を行なった。
- ・怪我が続いている利用者の環境や支援を検討し変更した。

③職員の資質及び専門性の向上に努める

- ・身体拘束に関する研修や安全対策担当者の研修など外部の研修へ参加。
- ・看護師の業務を嘱託医ごとの担当制に変更した。

(4) 利用者支援

①介護

ア 生活支援

- ・利用者、家族、多職種で話し合いながら、個々のケアプランに即した支援を実施した。
- ・インカムを活用し、職員間、多職種で連携を図りながら、利用者支援を行なった。
また、朝礼や終礼、引き継ぎ等もインカムを活用している。

イ 虐待・身体拘束

- ・委員会は月1回開催した。
- ・8月と3月に虐待防止、9月と12月に身体拘束廃止の現任研修を実施した。

ウ 事故防止

- ・委員会は月に1回開催した。
- ・6月と11月に事故防止の現任研修を実施した。

エ 看取り

- ・2月に看取りの現任研修を実施した。

オ 余暇活動（搜索・文化活動含む）

- ・春を楽しむ会、納涼祭、夏祭り、秋を楽しむ会、秋の大運動会、敬老の日、望年会、クリスマス、正月、ひな祭りなど装飾や季節行事を行なった。
- ・外部ボランティアの協力のもと今年度もリトミック（合唱）を実施。
- ・秋桜祭に向けて、作品作りや合唱発表の練習を行ない、秋桜祭に作品の掲示や発表を録画におさめた。

カ 生活環境

- ・利用者の安全を留意した居室レイアウトを行なった。
- ・カナン共有スペースに創作作品や季節の装飾を行なった。

キ 防災

実施日	内容
7月19日	日中火災想定訓練
2月21日	夜間火災想定訓練

②食事

ア 季節食

- ・利用者の方に季節変化を感じていただけるように、旬に合わせた献立や各季節の行事に合わせた食事提供を行なった。
- ・昼食選択メニューを月に1回取り入れ、利用者の好みを聞きつつ食事提供。またおやつ選択メニューを実施し、利用者自身で好きなものを選んでもらえるようにした。入浴日ではない日曜日に、月に2回程度実施。
- ・嗜好調査、入所時と6月に全員対象で実施。また利用者状況も日々変わるので、何か問題があればその都度改善につとめた。
- ・一昨年度から引き続き全国各地の郷土料理を取り入れた。馴染みやすいものを中心に、主菜や副菜について各都道府県の献立を少しずつ盛り込んだ。季節に合わせた食材を使用して対応出来た。昨年度に加え、郷土料理の他にご当地グルメやB級グルメを取り入れた。好評であったものは通常献立に移行し、プラスで違う郷土料理やご当地グルメを取り入れたので、全体的にその割合が増えた。

イ 食形態

- ・栄養ケア計画中心に、入所されている全員の方への栄養ケアマネジメントを実施。日々の変化や利用者状況を見て、その時々合った食形態を担当職員、他職種と相談しつつ行なった。
- ・体調変化や義歯の不具合等、少しの変化に気が付き早めに食形態変更の対応を行なった。

ウ 食環境

- ・音楽の好みの違い、食事時のテレビの視聴について等を考慮しながら環境を検討した。
- ・食席については安全面と機能面を考えた。入院や転倒等で利用者状況の変化が多くみられて、その都度担当職員中心に検討を行なった。
- ・R4年度のコロナ後は、食堂の使用が出来ず、ラウンジ2～3カ所と1階に分かれて食事摂取を行なった。生活の場自体が以前よりも狭い中での食事摂取となった。食環境としてはひとつの空間の中での全体の人数が減ったので、良いかと思うが好みが多分かれた。12月下旬から2階の食堂の使用を再開し、食事場所に合わせた環境整備や支援ができるよう工夫した。

エ その他

- ・金額面では年々原材料費が高騰しているため、予算範囲内で提供可能なもの、利用者に提供したいものと折り合いを考えた。手作りのものを中心に既製品も取り入れた。

- ・外出機会がなくなり、行事も大幅に削減されたため、施設内でも楽しめるようにおやつレクを実施。焼きまんじゅうを毎月献立に入れた。喜んでくださる方が多かった。ただ、職員の体制が整わず、やけどなどの事故を考慮して実施を見送る月もあった。
- ・感染症対策を重点的に行なった。委託業者との連携を行ない協力して対応をした。
- ・食事をからめた行事を数回実施したが、感染症対策のために利用者と職員とが一緒に食事をとることはせずに食事場所を分けて提供した。
- ・利用者がご家族等との直接の面会が出来なくなり、楽しみが減ってしまう中でリクエスト献立や、新聞の折り込みチラシに掲載されている食事を取り入れて、献立がマンネリ化しないように工夫した。
- ・下記表は、各月の食糧構成表をもとに作成。成分表が変更になったため、9月から栄養量が計算上減ってしまうかたちとなっている。提供している内容は変更がないので、しばらく経過を見て、今後の指示栄養量を変更していく予定。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー(kcal)	1,545	1,530	1,533	1,518	1,523	1,469
たんぱく質(g)	58.0	57.5	57.1	57.3	56.0	58.5
脂質(g)	34.3	30.8	32.4	32.6	31.9	33.7
塩分(g)	8.7	8.7	8.7	8.8	8.8	8.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー(kcal)	1,453	1,472	1,467	1,465	1,463	1,456
たんぱく質(g)	58.8	58.6	58.0	59.1	59.4	58.5
脂質(g)	31.1	33.1	31.8	32.6	31.6	31.7
塩分(g)	8.9	8.8	8.7	8.9	8.6	8.4

③医療・リハビリ

・各月状況

4月	胸部レントゲン（利用者）
5月	春の健康診断（利用者採血）
6月	春の健康診断（利用者聴打診）
7月	深夜業従事職員健康診断
	コロナワクチン接種（利用者・職員）
9～3月	生活習慣病予防検診
10～12月	インフルエンザ予防接種・コロナワクチン接種（利用者・職員）
1月	35歳未満職員健康診断

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	歯科	乳腺	皮膚科	精神科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	耳鼻科	合計
23	3	4	18	54	13	11	1	1	36	6	7	177

（令和4年度 183名）

・施設内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1324	1540	1642	1959	2203	1936	2300	2651	2897	2817	2303	2635	26207

（令和4年度 18019名）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
110	114	131	146	127	132	143	149	132	109	97	106	1496

（令和4年度 1379名）

・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
I.S	心不全・蜂窩織炎	3/5～4/11	北毛病院
Y.H	肺炎	3/29～4/5	有馬クリニック
S.T	呼吸不全	4/21～6/6	渋川中央病院
S.S	蜂窩織炎	5/25～6/2	有馬クリニック
S.K	尿路感染症	6/2～6/10 退所	渋川中央病院
S.T	肺炎・呼吸不全	6/10～7/19 退所	渋川中央病院
T.I	誤嚥性肺炎	6/6～6/29 退所	北毛病院
S.S	胃瘻造設	6/21～7/10	渋川医療センター
M.H	栄養失調・S状結腸ねじれ	7/4～7/28 退所	渋川医療センター
I.S	多臓器不全	8/10～8/11 退所	北毛病院
H.K	細菌性感染	8/27～10/5	北毛病院
K.M	気管支炎	9/1～9/11	渋川医療センター
S.U	誤嚥性肺炎	9/4～9/11	渋川医療センター
S.H	蜂窩織炎	9/4～9/11	渋川医療センター
T.N	肺炎	9/4～9/26	北毛病院
H.A	尿路感染症	9/6～9/12	北毛病院
M.K	気管支肺炎	9/8～10/2	北毛病院
T.K	閉塞性黄疸・胆管癌の疑い	9/8～9/28	北毛病院

N.O	気管支炎	9/12～10/4	渋川医療センター
K.H	胆管炎	9/19～10/5	北毛病院
S.I	肺炎	9/21～9/29	有馬クリニック
S.G	下肢の血栓症	10/13～2/5	北関東循環器病院
T.K	黄疸	11/6～11/20	北毛病院
M.T	誤嚥性肺炎	11/11～11/29	渋川医療センター
H.Y	肺炎・尿路感染症	11/9～12/4	北毛病院
R.H	尿路感染症・心不全	11/16～1/18	北毛病院
M.A	呼吸不全	12/6～12/8	有馬クリニック
T.K	黄疸	12/13～12/28	北毛病院
T.W	心不全悪化	12/15～2/6	関越中央病院
S.H	右乳房腫瘍摘出術	2/14～2/19	渋川医療センター
R.H	肺血症	2/7～2/20	渋川医療センター
T.S	肺炎	3/1～3/22	北毛病院
T.K	経尿道的手術	3/6～3/19	渋川医療センター
T.S	誤嚥性肺炎	3/27～	北毛病院

合計 33 件 （令和 4 年度 36 件）

・訪問歯科状況（延べ件数）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
28	26	34	28	25	40	30	25	27	29	27	31	350

（令和 4 年度 267 名）

④建物設備状況

- ・建物や設備の不備に対して、その都度業者に報告し修理を行なった。

⑤その他

- ・家族懇談会が実施できなかったため、ご家族に手紙や写真を送り利用者のカナンでの様子を伝えた。また、利用者の体調等の変化や怪我等は随時電話連絡した。
- ・面会等も予約制で可能な限り実施した。

⑥年間計画

月	日	内容
4	19 日	春を楽しむ会
7	28 日	納涼祭
8	9 日	夏祭り
9	27 日	敬老会

10	25 日	秋の大運動会
11	22 日	秋を楽しむ会
12	20 日 25 日	望年会 クリスマス集会
1	10 日	新年会
2	3 日	節分
3	3 日	ひな祭り

(5) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・家庭や他事業所との情報共有を行ない、支援に大きな違いが無いようにした。
- ・送迎時家族と多くの会話をする事で情報収集、情報提供を行なった。
- ・空床を利用し、受け入れ人数を増やし利用率を上げた。

②利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ人数	35	40	36	36	31	31	32	35	30	33	32	31
利用率 (%)	83.3	94.8	96.0	101.9	113.5	96.6	77.4	94.0	92.9	92.9	78.6	100.0

平均利用率：93.5%

5. マイーム〔共同生活援助事業〕

（１）概要

バルナバホームの老朽化に伴い、令和５年１１月１日付けでバルナバホームが旧グループホームさつきの建物に移転をした。移転に伴い、定員を５名から６名に増員した。

（２）年間退所・入所状況

退所日	性 別	支援機関	入所日	性 別	支援機関
7月31日	女 性 (さくらホーム)	江戸川区	1月2日	男 性 (バルナバホーム)	渋谷市

（３）重点目標に対する取り組み

①「支援力の向上」に力を入れる

- ・虐待防止研修会に世話人が全員参加。各ホームの打ち合わせ時に日頃の支援について振り返る時間を設けた。
- ・感染症研修会に世話人が参加し、各ホームに感染症対策の物品を準備した。ダビデホームは感染症流行時に使用し、スムーズに処理を行なうことができた。

②老朽化がすすんだ建物の対策を講じる

- ・8月30日、利用者のご家族向けにバルナバホーム移転説明会を実施した。
- ・11月1日、バルナバホームが旧グループホームさつきの建物に移転をした。その関係で南波ガス、NTT東日本、セコム、岳電工などに移転工事を依頼した。

（４）利用者支援

①生活支援

- ・障害の重度化や病気等により訪問看護、訪問介護を利用される利用者の方が多くなったが、その方に合ったサービス提供を行なうことができた。
- ・生活困窮者や在宅生活が長く集団生活が難しい方（精神障害あり）の受け入れを行なった。トラブルがあった際には、その都度関係部署と連携を図り対応を行なった。

②健康管理

- ・新型コロナのワクチン接種を各事業所と連携しながら行なった（2回）。
- ・9月上旬と3月中旬にクロスホーム、9月中旬にバルナバホーム、3月下旬にダビデホームの利用者が新型コロナウイルスに感染した。嘱託医に指示を仰ぎながら対応を行なった結果、重症化する利用者はなく収束することができた。

(5) 特記事項

- ・ダビデホーム、クロスホームの館内ワックス掛け、エアコン清掃を実施した（アットハウスクリーン）。
- ・さくらホームの照明機器と洗面台を交換した（大竹建築）。

(6) 年間行事等報告

月	日	内 容
5	9	消防設備点検（バルナバホーム、さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム）
6	23	バルナバホーム夜間想定防災訓練
6	30	ダビデホーム夜間想定防災訓練
7	5	消防立ち入り検査（ダビデホーム、クロスホーム）
7	13	クロスホーム夜間想定防災訓練
7	19	さくらホーム夜間想定防災訓練
8	28	スプリンクラー点検(旧グループホームさつき)
8	30	スプリンクラー点検(ダビデホーム、クロスホーム) バルナバホーム移転説明会
11	1	バルナバホーム引っ越し
11	7	消防設備点検(バルナバホーム、さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム)
2	9	さくらホーム日中想定防災訓練、地震訓練
2	27	スプリンクラー点検（ダビデホーム、クロスホーム） バルナバホーム日中想定防災訓練、地震訓練

※毎月1回、外出支援を実施。感染症流行時には外出支援を控えた。

第4章 通所系サービス

1. ベテル〔就労継続支援事業B型事業〕

(1) 概要

新型コロナウイルスの感染により、3月20日に職員1名が陽性。その後職員・利用者間で拡大し、3月22日から3月25日までの3日間、通所サービスを停止した。

就労関係では、収支班ごとの状況として販売班、軽作業班、製袋班の3班は、単独でのプラス収支に達することができなかった。印刷班はIT化の煽りを受け、受注案件の減少と一般企業との競合激化が顕著となったがプラス収支は維持。新規作業として、7月にガジェットプリンター導入。9月より施設外就労（ホテル清掃）開始。この2点の新しい取り組みが利用者の作業拡大以外にも収益に繋がり、結果として平均工賃は26,755円（前年比：1,430円の増額）となった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
6月4日	男性	渋川市	4月3日	男性	渋川市
8月16日	男性	渋川市	7月4日	男性	渋川市
12月31日	女性	渋川市	8月16日	男性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①平均工賃26,500円を達成する

・平均工賃は、26,755円（前年比1,430円の増）。目標である26,500円を達成した。

・各班年間売上と平均工賃（単位：円）

班名	令和5年度売上実績	令和4年度売上実績	前年比
印刷班	23,599,742	24,893,880	-1,294,138
販売班	1,781,340	1,059,430	721,910
軽作業班	2,453,429	2,799,836	-349,407
製袋班	5,500,044	4,682,680	817,364
各班合計	33,339,692	33,435,826	-104,271
平均工賃（月額）	26,755	25,394	+1,430

②施設外就労の実施に向けた体制を構築する

・9月より伊香保温泉に新設されたDoggyスイートペロ（ホテル松本楼の関連施設）の清掃業務を受託。原則として火・金・土曜日の週3回を担当。月平均で約9.5日稼働、11万円の売上となった。収益的には良好であったが、休日や祝日も実施のため、職員配置の部分で大きな負荷が掛かった。利用者に関して、当初は希望者や職員側からの

ピックアップで適性を見極め、最終的に 2 名は確定。その他は状況に応じて追加メンバーで対応した。

(4) 各班収支状況

①印刷班

- ・年間売上額：約 2,350 万円（前年比：95%）。目標値は前年度限定の単発案件を除外して試算しており、目標額約 2,400 万円としていたため、達成率は 97%となった。
- ・一般印刷以外の作業導入に関して、ガーメントプリント（布地への印刷）を導入。全体の収支バランスと実働のしやすさを考慮し、売上・支出は販売班での計上とした。

②販売班

- ・年間売上額は約 178 万円（前年比：約 170%）目標達成率 200%となった。
- ・ベテルコーヒーの売り上げアップのため、ネット販売を検討。専用口座開設が完了すれば開始できる状態となった。
- ・7月に導入したガーメントプリンターに関して、8月より正式に受注開始。
8月～3月までの売り上げ：約 625,000 円。月平均：約 78,000 円となった。また機材を持ち込み、イベントでの出店やセミナーでの事例報告の依頼もあり、その中での顧客獲得や他事業所との関係構築にも繋がった。
- ・10月12日、群馬県主催：ぐんま de バザール in 県庁（実演・販売）
- ・1月14日、吉岡町社会福祉協議会主催：吉岡新春コンサート（実演・販売）
- ・1月23日、群馬県障害者芸術文化活動支援センター主催：人材育成事業 GOOD JOB の作り方（事例発表）

③軽作業班

- ・年間売上額は、約 245 万円（前年比：約 85%）、目標達成率は 76%だった。内訳としては、銅箔とアルミの分別作業・解体作業が 111 万円。発泡スチロールのテープ留め作業と排水溝部材の梱包作業を合わせて約 103 万円であった。
- ・4月より丸進梱包の内職作業（不定期）、10月より関根昆布の作業を開始した。内訳として丸新梱包 9 万円、関根昆布 22 万円だった。
- ・発泡スチロールのテープ留め作業については、12月以降は商材の入荷量が減少した。

④製袋班

- ・年間売上額は約 550 万円（前年比：117%）月平均では、約 39 万円となり、目標達成率は約 95%だった。総発送枚数は、約 740 万枚（前年比：約 87%）。昨年に続き、売上額、発送枚数ともに回復することができなかった。
- ・施設外就労として、Doggy スイートペロの清掃業務の収入 796,000 円を、製袋班のとして計上した。

(5) 利用者支援

①作業支援

ア 印刷班

- ・各自、個別支援計画に掲げた目標に対する支援を実施。一部目標達成まで到達できなかった方もいるが、おおむね計画通りに習得することができた。

イ 販売班

- ・ベテルコーヒーのドリップバッグ作製に、新たに2名の利用者が全ての工程を覚えることができた。
- ・ガーメントプリンターの操作等について、利用者1名の方が細かい部分の作業工程を覚えることができた。

ウ 軽作業班

- ・内職作業や昆布の作業を新たに開始し、多くの利用者が関われるように支援した。
- ・解体作業では利用者がわかりやすいようにビスの場所に印を付け、全ての工程を一人で行なえるように支援した。また、サイズが大きい板状の銅箔剥がしでは、萬力を使用し、利用者が単独で銅箔を剥がしやすいような支援を行なった。

エ 製袋班

- ・封筒チェックを担当できる利用者を増やすため、昨年度から支援していた利用者に不良の内容やチェックする際のポイントなどを説明した。作業も職員が隣について一緒に行なったが不良の内容を完全に理解することができなかった。新たな利用者を選定し、封筒チェックを覚えてもらう支援を開始した。

④行事・集会開催状況

月	日	内 容	月	日	内 容
4	20	春季日帰り旅行	11	9	秋季日帰り旅行
6	28	親笑レクリエーション大会	12	28	慰労会
8	10	夏季日帰り旅行	1	4	利用者新年会（お祝い膳）

(6) 健康管理

①年間報告

月	日	項 目	備 考
4	27	血圧・体重測定	
5	16	レントゲン検査	レントゲン車（利用者14名）
	24	血圧・体重測定	
	25	コロナワクチン接種6回目	嘱託医（職員5名 利用者17名）
	26	利用者採血	恵の園看護師
6	29	血圧・体重測定	
7	26	血圧・体重測定	

	27	前期健康診断聴打診	嘱託医（利用者 22 名）
8	31	血圧・体重測定	
9	9	コロナワクチン 4 回目	嘱託医（職員 4 名 利用者 14 名）
	28	血圧・体重測定	
10	20	インフルエンザワクチン接種	嘱託医（職員 10 名 利用者 21 名）
	20	コロナワクチン接種 7 回目	嘱託医（職員 2 名 利用者 16 名）
	26	血圧・体重測定	
11	30	血圧・体重測定	
12	6	後期健康診断聴打診	嘱託医（利用者 24 名）
	28	血圧・体重測定	
1	25	血圧・体重測定	
2	29	血圧・体重測定	
3	29	血圧・体重測定	

※ 8 月～1 月 生活習慣病予防検診実施（35 歳以上の職員）

（7）日中一時支援事業

・利用者なし。

2. エスデル〔就労継続支援事業B型事業・生活介護事業〕

(1) 概要

新規で3名の利用者が入られたが、精神的不安定やご家族の関係、本人のご逝去で4名が退所された。また、感染症や入院により利用率が低下した。

就労継続支援B型では、パン工房マンナで新商品の開発や特別支援学校への外部販売、売店や職員販売を実施。また、渋川市の地域活性化事業にも数回出店した。生活介護では、生産活動を継続。畑を利用した野菜作りにも挑戦した。新規の利用者もいたため活動内容の見直しや食席等の検討を行なった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性 別	実施機関	入所日	性 別	実施機関
7月11日	女性	みなかみ町	4月10日	女性	佐久市
7月13日	女性	渋川市	8月16日	男性	渋川市
10月6日	男性	渋川市	3月11日	男性	吉岡市
2月29日	男性	渋川市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労継続支援事業B型

平均工賃14,000円を目指す

- ・作業収入はクリーニングが大幅に低下したが、その他の作業が増収となった関係で全体的には増収となった。工賃については、作業収入が大きく伸びた関係で目標を大きく上回った。

- ・生産活動売上と平均工賃

(単位：円)

生産活動内容	令和5年度実	令和4年度実績	前年比
公園清掃	1,188,000	880,000	308,000
クリーニング事業	4,803,300	5,462,500	－659,200
パン工房事業	3,331,910	3,219,690	110,220
軽作業事業	4,605,390	2,841,679	1,763,711
合 計	13,928,600	12,403,869	1,522,731
平均工賃（月額）	18,233	13,504	4,729

②生活介護事業

ア 活動内容を充実させる。

- ・日課は、午前運動、午後は創作・レクリエーションを継続した。利用者の状況の変化に対応し運動のグループ分けを変更した。外部講師による月1回のリトミックはなかなか関われなかった利用者も参加できるようになった。毎月のレクリエーション

ョンの企画も継続した。外部関係は新型コロナウイルス感染予防の為、実施せず。花の育成と畑を利用した野菜の栽培をした。他事業所の短期入所を利用する方については、相談支援事業所ぶどうの木と連携を取りあった。

(4) 利用者支援

①就労継続支援事業B型

[生産活動支援]

- ・パン事業では、課題であった支出を抑えることでプラス計上となった。また、イベントへの積極的な出店や外部販売についても継続的に実施することができた。軽作業については、昆布の作業を主力作業とし多くの利用者が取り組めるような作業環境や体制作り図った。公園清掃事業は継続して作業ができた。また、新たに 8 月より週 1 回伊香保のホテル清掃作業に取り組んだが、できる利用者が限られたり、精度が求められる為 3 月で終了した。クリーニング事業については高齢施設からの作業量が減りマイナス計上となった。また障害の特性から色々な問題行動に対応する為、毎日の声掛けを継続的行なったり、席替え、衝立等で落ち着いて作業できる環境作りを行なった。

[生活支援]

ア 利用者対応

- ・生活習慣の乱れや着衣の乱等ある利用者に対し改善が図れるよう、声かけ等の支援を行なった。
- ・レクリエーションとして、コロナ感染症予防の関係で全て館内で実施していたが、規制緩和により日帰り旅行や会食会等を外部で実施した。

イ 通所支援

- ・通所支援として、1 日 4 便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。

ウ 保健衛生支援

- ・保健衛生支援として、毎月の体重血圧測定、年 2 回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。冬季は感染症予防のため加湿器設置、毎日の検温及び手洗いうがいの徹底を図った。また、新型コロナウイルスの流行以降、検温のほか登園・外出時に手指消毒及び空間除菌器の使用は継続した。

エ 給食支援

- ・給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月 2 回実施した。外部委託業者（グリーンヘルスケアサービス）と共に、毎月会議を行ない、検食での指摘事項について検討した。

オ 家庭との連携

- ・家庭との連携として、連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で職員に周知すると共に、家庭へ電話での連絡を行ない情報の共有化を図った。

- ・グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と連携を密にとった。また、エステルだよりは毎月発刊した。

②生活介護事業

ア 利用者対応

- ・日課は、午前は運動、午後は創作活動やレクリエーションを継続した。但し、利用者の状況にあわせて午後も運動するなどした。入浴は女性利用者2名に加え男性利用者2名を対応した。

イ 機能訓練・運動

- ・個々の身体状況に合った運動メニューを理学療法士と検討した。

ウ 創作的活動

- ・生活介護の出入り口と玄関に作品を展示した。

エ 生産活動

- ・野菜の育成、販売した。

オ 生活相談及び援助

- ・送迎時やサービス担当者会議等を通じ、家族との情報交換を密接にした。
- ・利用者の状態を細かく観察し変化に対応した。

カ 行事・社会活動支援

- ・昨年度までレクリエーションは新型コロナウイルスの影響でほとんど室内だったが、徐々に外に出る機会を増やしていった。

③建物設備整備等実施状況

実施月	内 容
4	害虫駆除 植栽
5	消防設備点検 電気設備点検 浄化槽点検
6	
7	電気設備点検 害虫駆除
8	浄化槽点検 スプリンクラー点検
9	電気設備点検 スプリンクラー点検
10	汚泥引き抜き 浄化槽 11 条検査

	害虫駆除 浄化槽保守点検
11	消防設備、放送設備点検 電気設備点検
1	電気設備点検 害虫駆除
2	スプリンクラー点検
3	電気設備点検

④年間行事報告

月	日	内 容
4	1 27	辞令交付式 お花見（渋川市総合公園）
6	23 26 28	レクリエーション（焼きまんじゅうの会） 防災訓練 地域サービスウィーク
7	10 19 26	採血 レントゲン撮影 聴打診
9	9	夏季レクリエーション（みなかみモギトーレ）
10	18	日帰り旅行（藤岡方面）
11	8	聴打診・インフルエンザ予防接種
12	6	会食会（ホワイトパーク）
1	16	魚の解体ショー
2	10	地震想定訓練
3	11	防災訓練

（４）日中一時支援

- ・高崎市からの利用者を４月に１回、７月に１回、８月に４回受け入れを行なった。

3. シャローム [就労継続支援B型事業]

(1) 概要

利用者の安全を第一に考え、利用者の働く意欲と生産力の向上を目標に支援を行なった。

生産活動では、りんごは猛暑の影響を受け、早生と晩生品種の収量が激減し、売上も減少した。野菜も猛暑の影響を受けたが、職員増員に伴い生産量が増加し、売上も増加した。全体では売上目標を達成することはできなかったが、目標工賃は計算方式が変更したことに伴い、目標を達成することができた。また2名の新規利用があったが、9月に新型コロナウイルス蔓延のため4日間の営業を停止した影響もあり、利用率の低下につながった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
3月19日	男性	渋川市	5月22日	男性	渋川市
			11月2日	男性	渋川市
			3月7日	男性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①月額平均工賃 25,000 円を目指す

- ・りんごは、猛暑の影響で一部の品種に病気が発生し、売上は目標に届かなかった。野菜も猛暑の影響を受け被害があったが、職員増員に伴い枝豆を始め秋野菜の出荷はほぼ順調で売上増につながった。売上目標を達成することはできなかったが、目標工賃は計算方式が変更したことに伴い、目標を達成することができた。
- ・りんごの木の老木化に伴い、改植のための補助金申請を行なった。
- ・野菜の農地（借地）を増やし、作付面積の拡大に繋げた。
- ・肥料や資材の高騰を考慮し、りんごや加工品の値上げを実施した。全体の生産活動収入は前年度比 107.9%の 8,073,183 円にとどまり、当期損益は 2,022,249 円の赤字。月額平均工賃実績は 25,642 円となった。

・生産活動売上と平均工賃 (単位：円)

生産活動内容	令和5年度実績	令和4年度実績	前年比
りんご	3,747,593	4,551,440	-803,847
野菜	3,467,340	2,342,868	1,124,472
加工品	606,250	336,300	269,950
清掃委託	252,000	252,000	0
合 計	8,073,183	7,482,608	590,575
平均工賃月額	25,642	19,271	6,371

②新規利用者の獲得を目指す

- ・県内の各特別支援学校、相談支援事業所、自治体、グループホーム、なんでも相談室等への挨拶回りを実施。また実習生の受け入れも行ない、2名の新規利用に結び付いた。

(4) 利用者支援

① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効率化を図り、生産性を高めることができた。

②就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・赤城ふれあいまつりとつながるフェスティバルの販売会に利用者と共に参加することができた。

③生活支援・相談及び援助

- ・社会人として相応しい生活習慣や態度を身につけてもらうため、本人だけでなく家庭やグループホームから日頃の生活について情報提供を依頼した。

④食事の提供

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・季節ごとに新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者の楽しみとなっている。
- ・年齢、体格、労働量などを考慮し献立表を作成した。高齢の方の食事は食材を小さく切って提供、肥満対策としてご家族のご了解をいただいた上でご飯の量を減らすなどの対応を取った。食事指導については、個別に面談を行ない、一部の利用者に改善が見られた。
- ・食事の準備及び片付け、食事中のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行ない、やや改善が見られた。

⑤健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。また、嘱託医協力の下、7月に新型コロナウイルスワクチン接種を行なった。

⑥行事・社会活動支援

- ・赤城ふれあいまつりとつながるフェスティバルの販売会に利用者と共に参加することができた。

⑦建物設備等実施状況

- ・館内の Wi-Fi 環境設備を整えた。

⑧年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	13	花見	11	15	秋桜祭（めぐみホール）
5	12	キラキラレク（めぐみホール）	12	25	クリスマス集会
7	28	納涼祭（めぐみホール）	12	28	慰労会
9	11	バザー（各施設開催）	1	4	新年会
10	2	日帰り旅行			

4. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕

(1) 概要

令和5年4月の利用率は40%台後半であった。新規の利用者が定期的に利用開始になっていたが、利用中の方の入所移行などもあり、大きな利用率の増加とはならなかった。年間を通じては徐々に利用率は上昇してきている。

また、新規利用者獲得のため、居宅介護支援事業所に挨拶回りを行なった。利用者支援の充実を図るため、再アセスメントや新たな日課・行事の検討、職員に対する研修を可能な限り予定に組み込み、実施した。

(2) 重点目標

①利用率の向上

- ・居宅介護支援事業所とのやりとりを密にし、情報共有を行なうとともに、ゆうかりの取り組みなど宣伝を行なった。今まで関わりの無かった居宅介護支援事業所への宣伝にも力を入れ、新規利用者の獲得に繋げることができた。

②日課を検討する

- ・男性利用者の割合が増えてきた。集団でのレクへの参加が難しい方への個別の対応など、利用していて楽しい時間を過ごしてもらえるよう、職員会議等で余暇時間の過ごし方や行事を検討・実施した。また利用者情報を現状に見合うように再アセスメントを行なった。

(3) 利用者支援

①介護

- ・担当ケアマネジャーのケアプランに基づき通所介護計画書を作成した。全職員が通所介護計画書の内容を理解し、支援の方向性を統一できるように努めた。また介護方法の変更などについては、その都度、ご家族やケアマネジャーに確認をして進めた。

②食事

- ・利用者や家族、ケアマネジャーに聞き取りをして管理栄養士と連携し、個々の嗜好にできるだけ合わせられるようにした。また、季節食や行事食も提供して利用者に季節感や食べる楽しみを味わっていただいた。

③医務・リハビリ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、職員の入勤前の検温や体調チェック、手洗い、うがいを行なった。

- ・利用者や家族に対し、送迎前の検温をお願いした。また通所時にバイタルを確認し、利用者の健康管理に努めた。発熱などの不調が見られた場合には、家族に連絡をするなどの対応をとった。
- ・月1回の理学療法士が来園時に機能訓練のアドバイスを受けた。それらを参考にし、日常のレクリエーションの中にも集団体操などを取り入れ、利用者の機能維持、向上に努めた。

(4) 年間行事報告

開催月日	内 容
5月8日～13日	新緑ドライブ
8月28日、31日	夏祭り
10月25日	ゆうかり運動会
11月6日～11日	紅葉ドライブ
12月25日	クリスマス集会
12月29日	忘年会

(5) 年間利用状況

月	開所日	登録人数	実利用人員数	延利用人員数	稼働率
4	25	30	26	246	49%
5	27	30	27	269	50%
6	26	31	25	260	50%
7	26	31	27	268	52%
8	27	31	27	293	54%
9	26	31	28	266	51%
10	26	29	27	285	55%
11	26	30	28	269	52%
12	26	30	29	278	54%
1	24	29	28	279	58%
2	25	29	28	271	54%
3	26	30	28	293	56%
合計	310日	361	328	3277	
平均		30	27	273	53%

※令和5年12月31日（日）～令和6年1月3日（水）年末年始休業日。

開館時間 9:30～16:30（7～8時間）

1日の平均利用人数 10.6人（1日の利用定員 通常規模20名）

第5章 相談支援サービス

1. ぶどうの木

(1) 概要

利用者自身が望む自立した社会生活を支えることを目的とし、抱える課題の解決を行ない、本人に合った適切なサービスが利用できるようサービス等利用計画を作成した。一人ひとりの特性に合ったサービスが提供されているか、他に課題はないか定期的なモニタリングも行なった。

法人外利用者の新規利用者の獲得に取り組み、12名と契約をした。その中の1名は、法人内の事業所の利用を開始することができ、法人内の利用者獲得にもつながった。地域課題となっている障害児計画相談についても取り組んだが、困難事例や地域移行等の対応により、新規利用者は2名にとどまった。

困難事例では、ご家族による虐待が疑われる在宅利用者がおり、虐待通報された事例が1件あった。また、精神科病院に入院中の利用者について、病棟内での支援について虐待が疑われるため、虐待通報をされた事例が1件あり、関係機関と連携しながら再発防止に向けた支援を実施した。

地域移行の取り組みとして、法人外利用者で精神科病院へ長期入院されている方の2名の支援を行なった。関係機関と連携し、1名の方がグループホームへ移行することができた。

在宅利用者では、ご家族の高齢化や、障害の重度化により緊急でサービスを調整する機会が徐々に増えている。また、コロナ等の感染症の流行から、ご家族より将来のことについて不安を感じるとの相談が増え、成年後見制度の情報提供や、入所待機や短期入所等の利用調整を行なった。

(2) 実施状況

全契約者数	新規契約者数	契約終了者数	サービス等利用計画作成数	モニタリング作成数
262名	23名	5名	129件	524件

(3) 重点目標に対する取り組み

①指定一般相談支援事業

- ・単身で生活をされている法人外利用者2名に対して、地域定着支援や居宅介護等のサービス等を利用しながら、ご自宅で安定して生活できるよう支援した。
- ・精神科病院へ長期入院中の法人外利用者1名に対して、病院の担当ワーカー等と連携しながら退院調整し、体験利用を経てグループホームへ地域移行できた。

②指定特定相談支援事業

- ・在宅利用者で、ご家庭で虐待が疑われる事例があり、虐待通報された事例が1件あった。ご家族とのやり取りが困難で定期通院や薬の飲み忘れ、支援拒否等があったが、通報後再発防止のために支援の調整や見守り体制等が構築され、無事在宅生活が続いている。
- ・精神科病院へ長期入院中

の法人外利用者1名について、病棟内で過剰な身体拘束が確認され、ご家族が市町村へ虐待の通報をされた。通報後に身体拘束は解除され病棟内で退院に向けての支援が開始されている。

- ・利用者の重度化、ご家族の高齢化により、緊急で施設入所やグループホーム等生活の場が変更となる事例、短期入所等のサービス調整が必要となる事例が徐々に増えている。
- ・ご家族の高齢化や障害の重度化により、成年後見制度の情報提供や利用援助を行なった事例が8件あり増加傾向。身元引受人が必要となった場合や身寄りのない方がお亡くなりになった場合のサポートとして、日本福祉サポート等の団体が支援に入る事例も徐々に増えている。

③障害児計画相談

- ・基幹相談支援センターのなんでも相談室と連携し、地域課題となっている児童の計画相談について取り組んだ。なんでも相談室から5件の依頼を受け、3件について新規契約となった。

(4) 業務計画に対する取り組み

- ・利用者やご家族からの相談に応じ、短期入所、移動支援、共同生活援助、通院介助、居宅介護（家事援助、身体介護）、日中一時支援等の希望があり、事業所の情報提供やサービス調整を行なった。
- ・在宅生活が続けられるようサービスの調整等を行なった。将来の生活を考え、必要なサービスの説明や緊急時にも利用できるよう短期入所等の体験利用を進めた。
- ・毎月の職員会議や週1回の定例の打ち合わせで、進捗状況や困難事例の検討を行なった。
- ・地域資源の確認や困難事例の相談等について、なんでも相談室、渋川広域の他の相談支援事業所、各市町村へ確認した。
- ・相談支援部会、発達障害者支援者研修、障害児計画相談研修等へ参加し、制度やサービスについての理解を深め、計画に反映させた。
- ・成年後見制度について、希望されたご家族や必要とされるご家族へ情報提供や利用援助を行なった。ご家族や利用者から、お亡くなりになったときの相談があり、身寄りのない方には日本福祉サポートやほほえみの会等の団体があることを紹介した。

2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕

(1) 概要

開所 6 年目に入り、2 名の職員ともに主任介護支援専門員となり、指導的立場と業務の安定を図ることができた。また、今までのサービス事業所との関係を維持しつつ、新しいサービス事業所との関係構築にも努めた。地域包括支援センターや他事業所との事例検討会にも参加し、地域課題の情報交換と共有に努めた。

(2) 重点目標に対する取り組み

①事業所運営の安定を図る

- ・2 名ともに主任介護支援専門員となり、より事業所運営の安定感を図ることができた。今後は 3 名体制を視野に入れて、特定事業所加算の取得を目指す。

②複雑、困難なケアマネジメントに対応する

- ・地域包括支援センターと連携して事例検討会で情報交換と共有、また困難事例に取り組むことができた。

③将来を見据えた新しいサービスを検討する

- ・居住支援などインフォーマルなサービス実現のため情報収集を行なっている。

(3) 担当利用者数推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要介護	62	65	71	69	65	69	76	75	82	83	80	82
要支援	9	9	9	8	8	7	6	6	6	6	6	5

※累計契約利用者数 267 件（令和 6 年 3 月末現在）

第6章 収益事業

1. オリーブ

(1) 概要

売り上げは目標額よりも約 2,880 千円少なく達成率は 90.4%であった。そのため法人への繰り入れ額は目標よりも 150 万円少ない 100 万円となった。

(2) 重点目標

①収入 3,500 万円、収支差額 250 万円を達成する

- ・令和 5 年度は、売店の冷蔵庫等が永年劣化や他の備品等も買換え、修理等が増え、100 万円のみ繰り入れであった。

②現状のオリーブ事業内容を見直す

- ・アンベアンスの営業について、夜の部の利用がかなり減っていたため、営業日数を 5 日から 2 日に変更した。
- ・その他の見直しについては検討できなかった。

③新規の事業を検討する

- ・前年度末で閉所した「ポパイ」の事業を一部受け継いだが、具体的な売り込み等の検討ができなかったため、売り上げを伸ばせなかった。

(3) 事業計画

①10 月にインボイス制度が開始されるため、それらの対応を進める。

- ア 課題を抽出し、確実に進めていく。

②売店及びアンベアンスの運営を見直す

- ・アンベアンスの営業について見直した。

(3) 年間売上実績（前年度比）

単位：千円

	売上高	法人への繰り入れ
令和 5 年度	30,766	1,000
令和 4 年度	29,712	1,700
差 額	1,054	－700